

令和元年 三郷市都市計画マスタープラン 市民アンケート調査報告書

1 アンケート調査の概要

(調査の目的)

令和2年度末を目標に今後20年を見通したまちづくりの基本となる新たなマスタープランの策定にあたり、広く市民の意見を把握する重要な基礎資料とすることを目的として実施した。

(調査の対象)

令和元年9月1日現在(住民基本台帳)、市内に居住する満18歳以上の市民を対象に、3,000人を無作為に抽出した。

(調査の方法)

調査は、配布、回収ともに郵送により実施した。

(調査の実施経過)

配布日	令和元年10月5日(土)	
回収日	〃 10月18日(金)	アンケート票に記載した回収締切り日
	〃 11月12日到着分まで	実質の回収締切り日

(回収結果)

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,000件	972件	972件	32.4%

(回収結果の誤差について)

アンケート回収結果の誤差は、母集団と回収数(サンプル数)から、下式によって求められる。

この式から求めると、集計結果の比率が50%(=0.5)の場合、その誤差は±3.13%と算定される。

$$\varepsilon = \alpha * \sqrt{\frac{M - N}{M - 1} * \frac{P(1 - P)}{N}}$$

記号	今回アンケートの値	摘要
母集団:M	119,000	三郷市の対象となる人口(H30.3.31の18歳以上人口概数)
サンプル数:N	972	アンケート回収数
信頼係数:α	1.96	95%以上の確率とした場合の係数
標本比率:P	0.5	集計結果による割合(誤差が最大となる比率:50%)
誤差 ε	0.0313	計算で求められた割合に対する誤差(この場合 50%±3.13%)

2 集計結果と分析

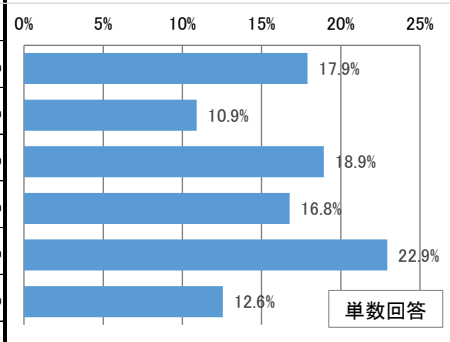
注: グラフ内やコメント中の選択肢の文字は、字数の関係で一部簡略化して表示しているものがある

2-1 住まいの地域の環境について

問1 あなたがお住まいの場所はその地域に該当するか、地図でご確認の上、1つ選んで下さい。

1 北部地域 2 彦成地域 3 早稲田地域 4 中央地域 5 東和地域

選択項目	回答数	割合
1 北部地域	174	17.9%
2 彦成地域	106	10.9%
3 早稲田地域	184	18.9%
4 中央地域	163	16.8%
5 東和地域	223	22.9%
未回答	122	12.6%
合計	972	100.0%

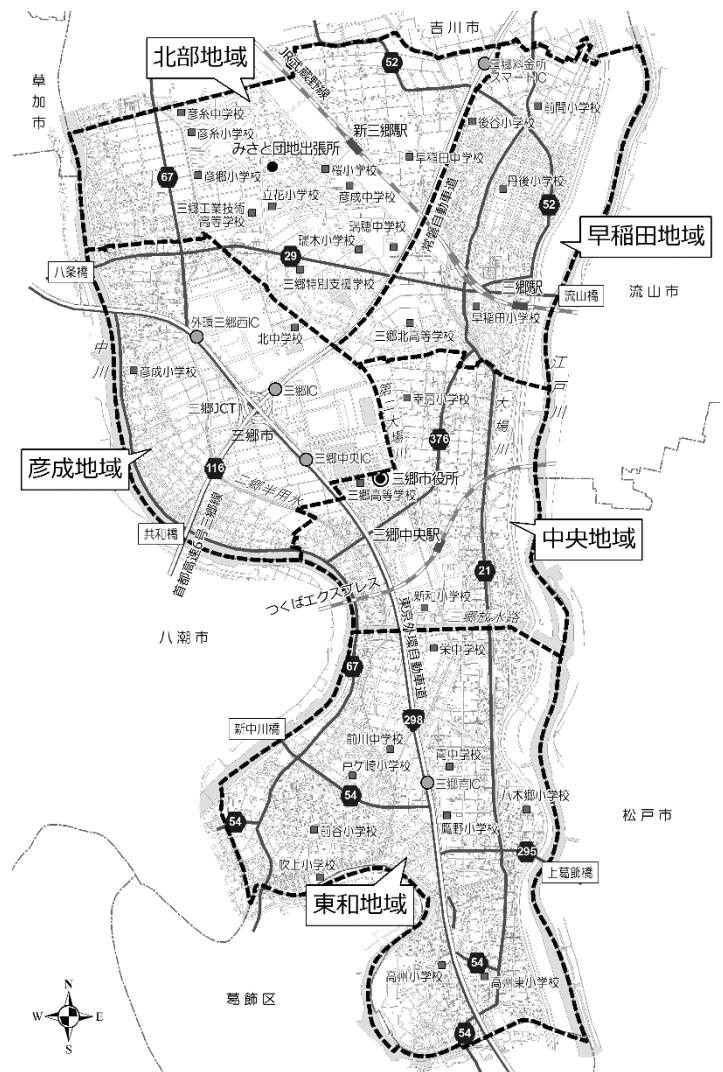


- ・最も回答が多い地域は東和地域の 223 件、以下早稲田地域 184 件、北部地域 174 件と続いているが、未回答が 122 件と回答総数の中で 12.6%となっている。
- ・各地域の居住者数（20 歳以上）と対照すると、彦成地域では居住者の割合が 7.9%に対して回答者の割合は 12.5%、同様に早稲田地域では 15.1%に対して 19.2%、中央地域では 15.1%に対して 19.2%と回答者の割合が高くなっている。
- ・反対に北部地域では人口割合の 26.6%に対して回答者割合が 20.5%、早稲田地域では 30.9%に対して 26.2%と回答者の割合が低くなっている。

(参考) H27 国勢調査人口との対照

	20歳以上人口(人)	割合	アンケート回答者数	同割合
北部地域	30,015	26.6%	174	20.5%
彦成地域	8,958	7.9%	106	12.5%
早稲田地域	22,024	19.5%	184	21.6%
中央地域	17,068	15.1%	163	19.2%
東和地域	34,874	30.9%	223	26.2%
合計	112,939	100.0%	850	100.0%

※アンケート回答者数の割合は、未回答を除く合計に対する割合



問2 あなたがお住まいの地域の生活環境に関する次の各項目について、現状の満足度及び生活環境を良くしていくための改善の優先度をうかがいます。(次の各項目について満足度と優先度に1つずつ〇をつけてください)

		満足度					優先度		
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	高い	ふつう	低い
道路や交通	1 幹線道路の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3
	2 幹線道路の渋滞対策	1	2	3	4	5	1	2	3
	3 生活道路の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3
	4 歩道や自転車道の充実度	1	2	3	4	5	1	2	3
	5 交通事故に対する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3
	6 鉄道やバス利用の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3
快適な街並み	7 公園や広場の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3
	8 街並みや建物景観の美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3
	9 田園風景の美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3
	10 水辺環境の美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3
暮らしやすさ	11 日常の買物の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3
	12 駅や公共施設のバリアフリー化	1	2	3	4	5	1	2	3
	13 小・中学校への通学のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3
	14 子育て施設の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3
防災・防犯や公害	15 水害に対する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3
	16 火災延焼に対する安全性	1	2	3	4	5	1	2	3
	17 避難場所の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3
	18 側溝や排水路などの雨水対策	1	2	3	4	5	1	2	3
	19 防犯灯や街灯の充実度	1	2	3	4	5	1	2	3
	20 生活排水の処理(下水道など)	1	2	3	4	5	1	2	3
	21 騒音や振動などの公害防止	1	2	3	4	5	1	2	3

満足度と優先度の集計結果 (件)

選択項目		満足度						優先度			
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答	高い	ふつう	低い	未回答
道路や交通	1 幹線道路の安全性	36	107	461	208	116	44	235	513	88	136
	2 幹線道路の渋滞対策	17	62	387	307	175	24	295	466	109	102
	3 生活道路の安全性	24	102	395	290	143	18	337	431	100	104
	4 歩道や自転車道の充実度	34	104	266	328	222	18	376	366	129	101
	5 交通事故に対する安全性	13	77	472	262	124	24	284	478	102	108
	6 鉄道やバス利用の便利さ	70	126	288	247	225	16	335	408	130	99
快適な街並み	7 公園や広場の利用のしやすさ	67	147	493	164	80	21	141	573	155	103
	8 街並みや建物景観の美しさ	35	115	513	198	92	19	113	592	168	99
	9 田園風景の美しさ	30	105	557	180	82	18	73	584	219	96
	10 水辺環境の美しさ	28	87	468	235	133	21	134	546	191	101
暮らしやすさ	11 日常の買物の便利さ	132	243	304	183	98	12	273	440	152	107
	12 駅や公共施設のバリアフリー化	54	131	515	178	73	21	178	562	128	104
	13 小・中学校への通学のしやすさ	77	133	519	148	61	34	174	555	125	118
	14 子育て施設の利用のしやすさ	23	80	603	140	65	61	155	578	102	137
防災・防犯や公害	15 水害に対する安全性	27	87	461	247	133	17	370	397	101	104
	16 火災延焼に対する安全性	13	70	600	199	69	21	232	535	98	107
	17 避難場所の利用のしやすさ	18	92	505	216	117	24	258	486	115	113
	18 側溝や排水路などの雨水対策	22	81	434	278	135	22	302	450	115	105
	19 防犯灯や街灯の充実度	27	97	332	311	186	19	370	385	120	97
	20 生活排水の処理(下水道など)	39	111	558	156	90	18	205	560	105	102
	21 騒音や振動などの公害対策	26	84	547	199	102	14	191	560	125	96

満足度と優先度の割合

選択項目		満足度					満足度 指数	優先度			優先度 指数
		満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満		高い	ふつう	低い	
道路 や 交通	1 幹線道路の安全性	3.9%	11.5%	49.7%	22.4%	12.5%	2.72	28.1%	61.4%	10.5%	2.18
	2 幹線道路の渋滞対策	1.8%	6.5%	40.8%	32.4%	18.5%	2.41	33.9%	53.6%	12.5%	2.21
	3 生活道路の安全性	2.5%	10.7%	41.4%	30.4%	15.0%	2.55	38.8%	49.7%	11.5%	2.27
	4 歩道や自転車道の充実度	3.6%	10.9%	27.9%	34.4%	23.3%	2.37	43.2%	42.0%	14.8%	2.28
	5 交通事故に対する安全性	1.4%	8.1%	49.8%	27.6%	13.1%	2.57	32.9%	55.3%	11.8%	2.21
	6 鉄道やバス利用の便利さ	7.3%	13.2%	30.1%	25.8%	23.5%	2.55	38.4%	46.7%	14.9%	2.23
街 並 み	7 公園や広場の利用のしやすさ	7.0%	15.5%	51.8%	17.2%	8.4%	2.95	16.2%	65.9%	17.8%	1.98
	8 街並みや建物景観の美しさ	3.7%	12.1%	53.8%	20.8%	9.7%	2.79	12.9%	67.8%	19.2%	1.94
	9 田園風景の美しさ	3.1%	11.0%	58.4%	18.9%	8.6%	2.81	8.3%	66.7%	25.0%	1.83
	10 水辺環境の美しさ	2.9%	9.1%	49.2%	24.7%	14.0%	2.62	15.4%	62.7%	21.9%	1.93
や 暮 ら し	11 日常の買物の便利さ	13.8%	25.3%	31.7%	19.1%	10.2%	3.13	31.6%	50.9%	17.6%	2.14
	12 駅や公共施設のバリアフリー化	5.7%	13.8%	54.2%	18.7%	7.7%	2.91	20.5%	64.7%	14.7%	2.06
	13 小・中学校への通学のしやすさ	8.2%	14.2%	55.3%	15.8%	6.5%	3.02	20.4%	65.0%	14.6%	2.06
	14 子育て施設の利用のしやすさ	2.5%	8.8%	66.2%	15.4%	7.1%	2.84	18.6%	69.2%	12.2%	2.06
防 災 ・ 公 害 防 犯	15 水害に対する安全性	2.8%	9.1%	48.3%	25.9%	13.9%	2.61	42.6%	45.7%	11.6%	2.31
	16 火災延焼に対する安全性	1.4%	7.4%	63.1%	20.9%	7.3%	2.75	26.8%	61.8%	11.3%	2.15
	17 避難場所の利用のしやすさ	1.9%	9.7%	53.3%	22.8%	12.3%	2.66	30.0%	56.6%	13.4%	2.17
	18 側溝や排水路などの雨水対策	2.3%	8.5%	45.7%	29.3%	14.2%	2.55	34.8%	51.9%	13.3%	2.22
	19 防犯灯や街灯の充実度	2.8%	10.2%	34.8%	32.6%	19.5%	2.44	42.3%	44.0%	13.7%	2.29
	20 生活排水の処理(下水道など)	4.1%	11.6%	58.5%	16.4%	9.4%	2.85	23.6%	64.4%	12.1%	2.11
	21 騒音や振動などの公害対策	2.7%	8.8%	57.1%	20.8%	10.6%	2.72	21.8%	63.9%	14.3%	2.08

※割合は、未回答者を除く合計に対する割合

※満足度指数：(満足×5+やや満足×4+ふつう×3+やや不満×2+不満×1)÷回答数として算定

※優先度指数：(高い×3+普通×2+低い×1)÷回答数として算定

- ・満足度が高い項目は、「日常の買い物の便利さ」が満足 13.8%で最も多く、次いで「小中学校への通学のしやすさ」が 8.2%となっている。
- ・反対に不満が強いのは「鉄道利用の便利さ」23.5%、「歩道や自転車道の充実度」23.3%である。
- ・優先度について「高い」の割合が大きいのは、「歩道や自転車道の充実度」43.2%、「水害に対する安全性」42.6%、「防犯灯や街灯の充実度」42.3%となっている。
- ・満足度、優先度については、項目ごとに「満足度指数」と「優先度指数」を求めて、項目間の比較を行うとともに、クロス集計についてもこの指数を用いて行った。
- ・ここに、指数は次の計算により求めた。

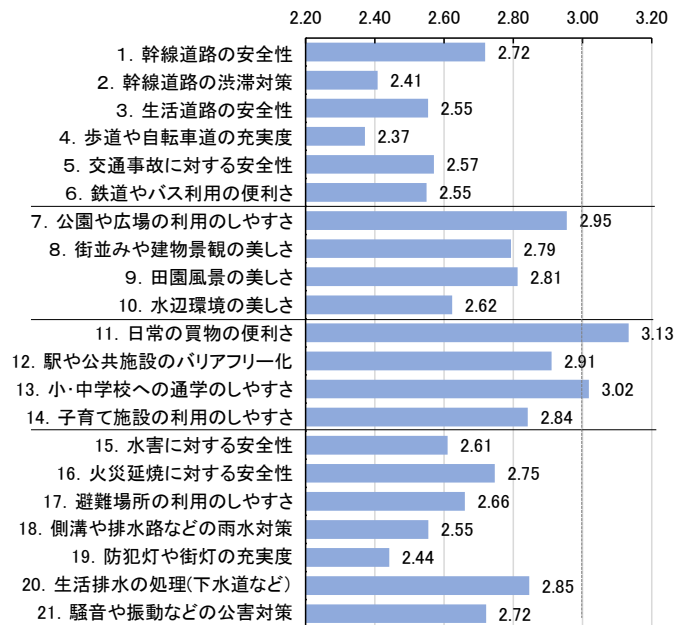
満足度指数 = (満足×5+やや満足×4+ふつう×3+やや不満×2+不満×1)÷回答数 優先度指数 = (高い×3+普通×2+低い×1)÷回答数
--

(満足度指数)

- ・21項目のうち指数が3.0を越えるのは「日常の買い物の便利さ」と「小中学校への通学にしやすい」の2項目のみで、他は全て3.0未満(不満度が満足度を上回る)となった。
- ・この中で、交通・道路に関する項目は指数が小さく、また防災・防犯に関しても多くの項目で満足度が低くなっている。
- ・一方、快適な街並みや暮らしやすさに関する項目では、不満度は低く、アンケート記入では「ふつう」が多く選択されている。
- ・指数が小さい項目は、「歩道や自転車道の充実度」、「幹線道路の渋滞対策」、「防犯灯や街灯の充実度」の3項目が特に強い不満項目となっている。

満足度指数(最大5.0、最小1.0、3.0が中央値)

満足度指数 = (「満足」×5 + 「やや満足」×4 + 「普通」×3 + 「やや不満」×2 + 「不満」×1) ÷ 回答数

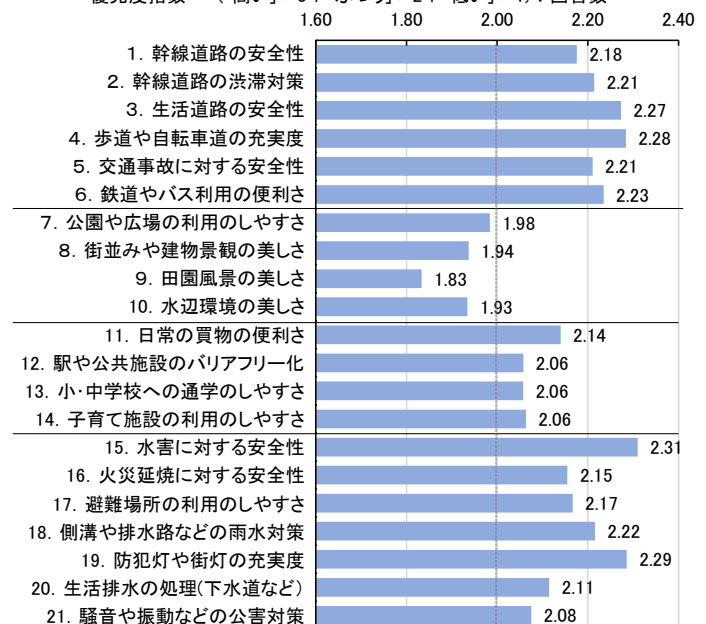


(優先度指数)

- ・取り組むべき優先度の指数で見ると、大分類の快適な街並みに関する4項目は全て優先度が低い結果となった。
- ・優先度が高いのは、交通・道路と防災・防犯の各項目であり、暮らしやすさについては、比較して優先度はそれほど高くない。
- ・項目別に見ると、優先度が最も高いのは「水害に対する安全性」、「防犯や街灯の充実度」、「歩道や自転車道の充実度」、「生活道路の安全性」の4項目への優先度意識が高くなっている。

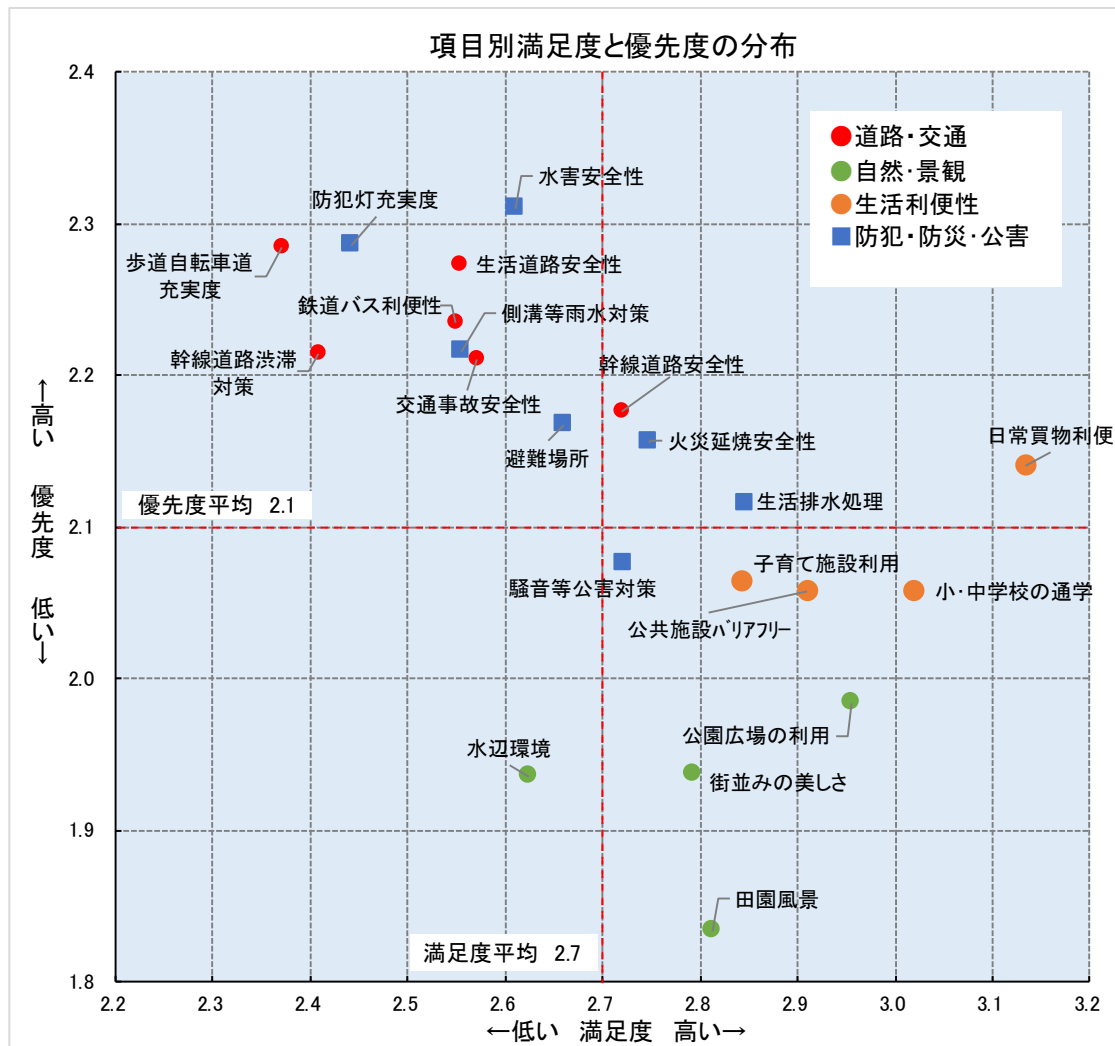
優先度指数(最大3.0、最小1.0、2.0が中央値)

優先度指数 = (「高い」×3 + 「ふつう」×2 + 「低い」×1) ÷ 回答数



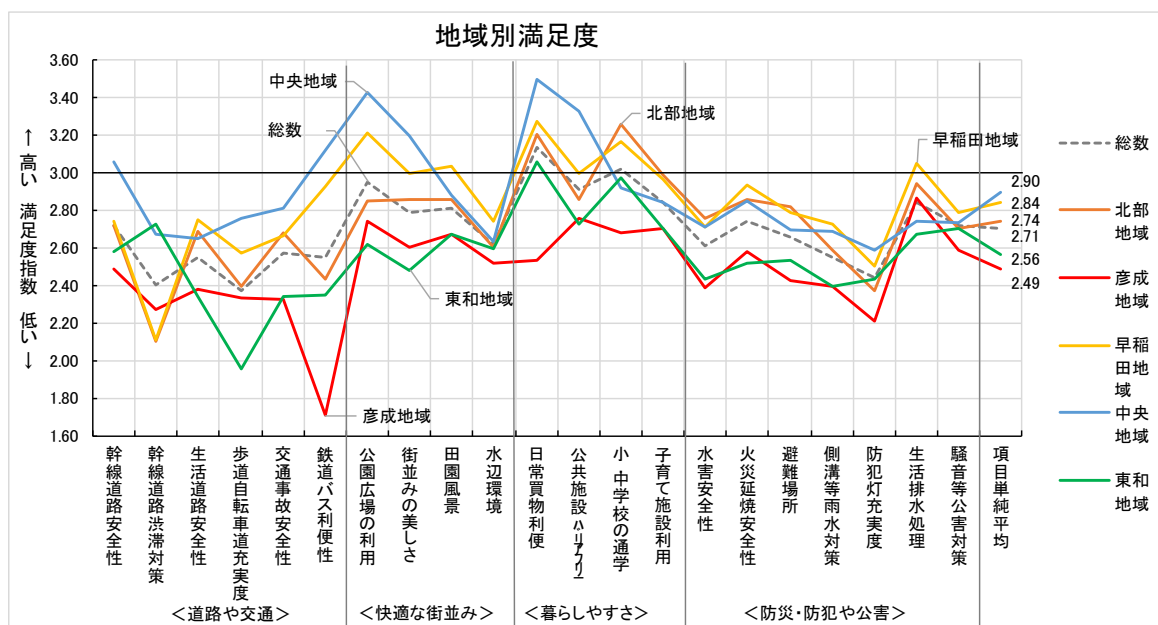
- ・以上から、傾向として道路・交通や防犯・防災に関しては、強い不満を示すとともに優先的に取り組むべきとの意識が示されているといえる。
- ・一方、快適な街並みに関しては、満足度は低いものの取組の優先度は低い結果となり、また暮らしやすさについては一定の生活利便性を感じており、取組の優先度は高くない結果であった。

- ・満足度指数と優先度指数の項目別の分布は以下の通り。
- ・グラフの左上に行くほど満足度が低いことを示すとともに優先度は高いことを示しているが、これに該当するのは「歩行者自転車道充実度」、「防犯灯充実度」、「幹線道路渋滞対策」、「鉄道バス利便性」、「生活道路安全性」、「水害安全性」、「生活道路安全性」であり、これらに適切に対応することが強く求められているとみることができる。
- ・暮らしやすさに関連する各項目については、全体に満足度が高く優先度もそれほど高くない傾向にある。
- ・また、自然や環境に関する各項目は、あまり満足度が高くなく、かつ優先度は低いという傾向にある。



(地域別の満足度)

- ・満足度の地域別傾向は以下のグラフの通りである。
- ・グラフの右端には各項目の単純平均を示したが、これによると、満足度が低い地域は彦成地域と東和地域となっており、北部地域、早稲田地域、中央地域と大きな開きが認められる。
- ・彦成地域では、「鉄道バス利便性」が全地域の中でも最も強い不満を示す項目となっている。また、全ての項目で指数が3.0を下回っていることや、不満の程度も他の地域に比べて強い傾向がある。
- ・東和地域でもほぼすべての項目で指数が3.0を下回っており、特に「歩道や自転車道の充実度」の満足度が低くなっている。
- ・北部地域の平均は総数に近い傾向を示すが、項目としては「幹線道路渋滞対策」、「防犯灯・街灯充実度」、「鉄道バス利便性」等の満足度が低いが、暮らしやすさの各項目は、「ふつう」若しくは「満足」とする傾向が見られる。
- ・早稲田地域では「幹線道路渋滞対策」が突出して不満が高く、そのほかの快適な街並みや暮らしやすさに係る各項目は、3.0前後を示している。
- ・中央地域は、各項目について不満度が低い、または満足度が高い傾向を示しており、「日常買い物利便」、「公園広場の利用」、「公共施設のバリアフリー」のほか、「幹線道路安全性」、「鉄道バスの利便性」、「街並みの美しさ」の各項目も3.0を上回る傾向を示している。



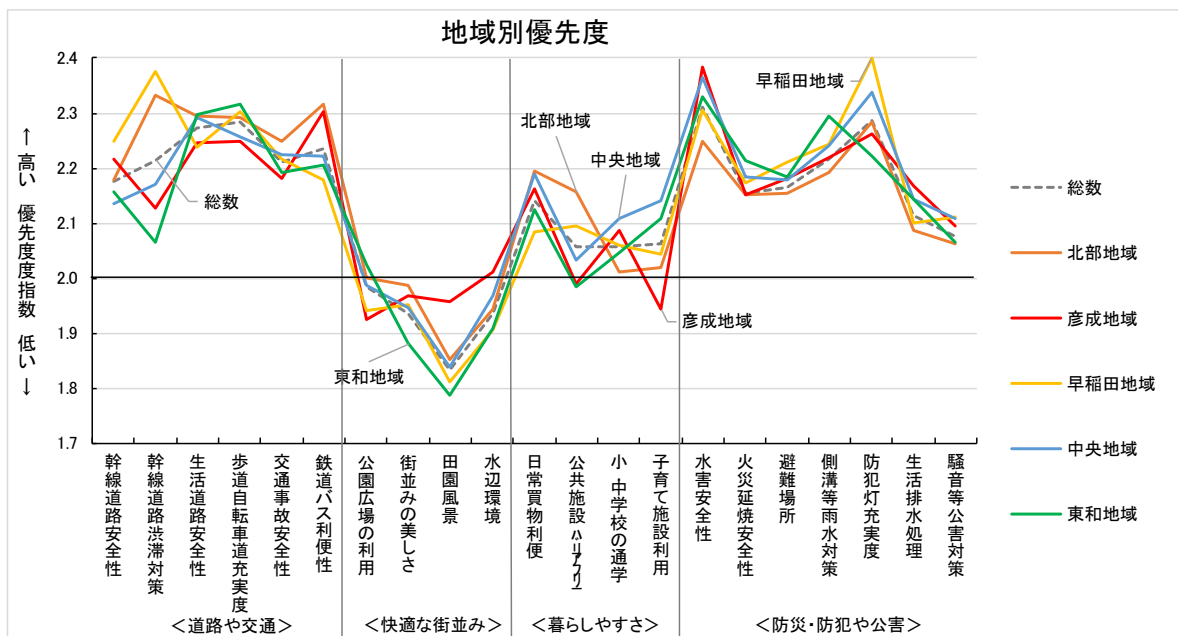
(地域別の優先度)

- ・取組の優先度については、道路・交通と防災・防犯に係る項目の優先度が高く、快適な街並みや暮らしやすさに係る項目の優先度が低いという総数の傾向は、地域ごとに見てもほぼ同様の傾向を示している。
- ・項目ごとに5地域の中で最も優先度が高い地域を見ると、下表のようになっている。

北部地域	交通事故安全性、鉄道バス利便性、街並みの美しさ、日常の買い物利便、公共施設バリアフリー
彦成地域	田園風景、水辺環境、水害安全性、生活排水処理
早稲田地域	幹線道路安全性、幹線道路渋滞対策、避難場所、防犯灯充実度、騒音等公害対策
中央地域	小中学校の通学、子育て施設利用
東和地域	生活道路安全性、歩道自転車道充実度、公園広場の利用、火災延焼安全性、側溝等雨水対策

		地域別優先度指数の比較					
		総数	1北部地域	2彦成地域	3早稲田地域	4中央地域	5東和地域
道路や交通	幹線道路安全性	2.18	2.18	2.22	2.25	2.14	2.16
	幹線道路渋滞対策	2.21	2.33	2.13	2.38	2.17	2.07
	生活道路安全性	2.27	2.29	2.25	2.24	2.29	2.30
	歩道自転車道充実度	2.28	2.29	2.25	2.30	2.26	2.32
	交通事故安全性	2.21	2.25	2.18	2.22	2.23	2.19
快適な街並み	鉄道バス利便性	2.23	2.32	2.30	2.18	2.22	2.21
	公園広場の利用	1.98	2.00	1.93	1.94	1.99	2.02
	街並みの美しさ	1.94	1.99	1.97	1.95	1.95	1.88
	田園風景	1.83	1.85	1.96	1.81	1.84	1.79
暮らしやすさ	水辺環境	1.93	1.94	2.01	1.91	1.97	1.91
	日常買物利便	2.14	2.19	2.16	2.08	2.19	2.12
	公共施設バリアフリー	2.06	2.16	1.99	2.09	2.03	1.99
	小・中学校の通学	2.06	2.01	2.09	2.06	2.11	2.05
防災・防犯や公害	子育て施設利用	2.06	2.02	1.94	2.04	2.14	2.11
	水害安全性	2.31	2.25	2.38	2.31	2.37	2.33
	火災延焼安全性	2.15	2.15	2.15	2.17	2.18	2.21
	避難場所	2.17	2.15	2.18	2.21	2.18	2.18
	側溝等雨水対策	2.22	2.19	2.22	2.24	2.24	2.29
	防犯灯充実度	2.29	2.28	2.26	2.40	2.34	2.22
生活排水処理		2.11	2.09	2.17	2.10	2.14	2.14
騒音等公害対策		2.08	2.06	2.09	2.11	2.11	2.06
全項目単純平均		2.13	2.14	2.13	2.14	2.15	2.12

5地域の中で最も優先度が高い地域
※破線は、2.0(中央値)ライン

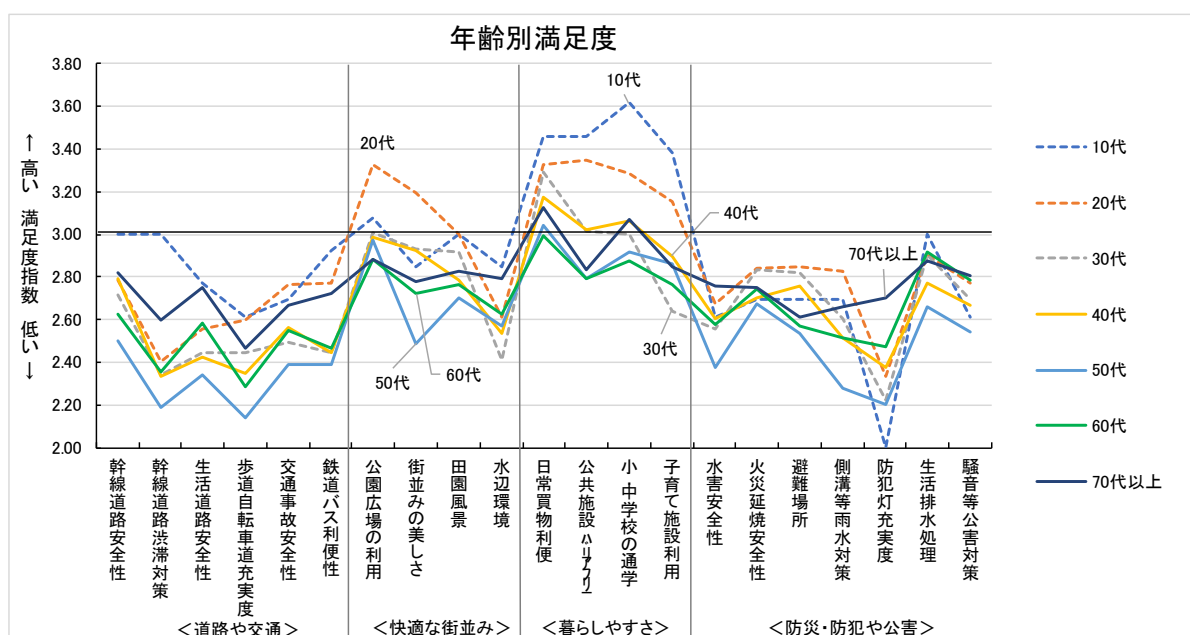


(年齢層別の満足度)

- ・年齢層別満足度の全体的傾向を全項目単純平均で見ると、10代、20代の若い年齢層は満足度が高い(不満度が低い)傾向が見られ、30代、40代は不満度が強まり、50代で最も不満度が高くなっている。60代についても不満度が比較的高いが、70代になると不満度は低くなる傾向となっている。
- ・項目別に見ていくと、10代～30代では「防犯灯充実度」に帯する不満が特に強いこと、及び10代、20代は暮らしやすさの各項目について高い満足度を示していることが特徴となっている。
- ・30代から60代の年齢層では、道路や交通に関する各項目について強い不満を示すとともに、年齢が上がるに従って防災・防犯に関する項目の不満度が高くなる傾向にある。
- ・このうち、50代ではほぼ全項目にわたって各年齢層の中で最も不満度が高くなる傾向にある。
- ・70代では、全項目に渡って不満度が縮小し、また満足度もそれほど高いわけではないことから、全体として「ふつう」の評価が多いものとみられる。

		年齢層別の満足度指数						
		1. 10代 N=13	2. 20代 N=52	3. 30代 N=117	4. 40代 N=165	5. 50代 N=135	6. 60代 N=196	7. 70代以上 N=283
道路や交通	幹線道路安全性	3.0	2.8	2.7	2.8	2.5	2.6	2.8
	幹線道路渋滞対策	3.0	2.4	2.3	2.3	2.2	2.4	2.6
	生活道路安全性	2.8	2.6	2.4	2.4	2.3	2.6	2.8
	歩道自転車道充実度	2.6	2.6	2.4	2.3	2.1	2.3	2.5
	交通事故安全性	2.7	2.8	2.5	2.6	2.4	2.6	2.7
	鉄道バス利便性	2.9	2.8	2.4	2.4	2.4	2.5	2.7
快適な街並み	公園広場の利用	3.1	3.3	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9
	街並みの美しさ	2.8	3.2	2.9	2.9	2.5	2.7	2.8
	田園風景	3.0	3.0	2.9	2.8	2.7	2.8	2.8
	水辺環境	2.8	2.6	2.4	2.5	2.6	2.6	2.8
暮らしやすさ	日常買物利便	3.5	3.3	3.3	3.2	3.0	3.0	3.1
	公共施設ハリアフリー	3.5	3.3	3.0	3.0	2.8	2.8	2.8
	小・中学校の通学	3.6	3.3	3.0	3.1	2.9	2.9	3.1
	子育て施設利用	3.4	3.2	2.6	2.9	2.9	2.8	2.8
防災・防犯や公害	水害安全性	2.6	2.7	2.6	2.6	2.4	2.6	2.8
	火災延焼安全性	2.7	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7
	避難場所	2.7	2.8	2.8	2.8	2.5	2.6	2.6
	側溝等雨水対策	2.7	2.8	2.6	2.5	2.3	2.5	2.7
	防犯灯充実度	2.0	2.3	2.2	2.4	2.2	2.5	2.7
	生活排水処理	3.0	2.9	2.9	2.8	2.7	2.9	2.9
	騒音等公害対策	2.6	2.8	2.7	2.7	2.5	2.8	2.8
全項目単純平均		2.9	2.9	2.7	2.7	2.6	2.7	2.8

※破線は3.0(中央値)を示す

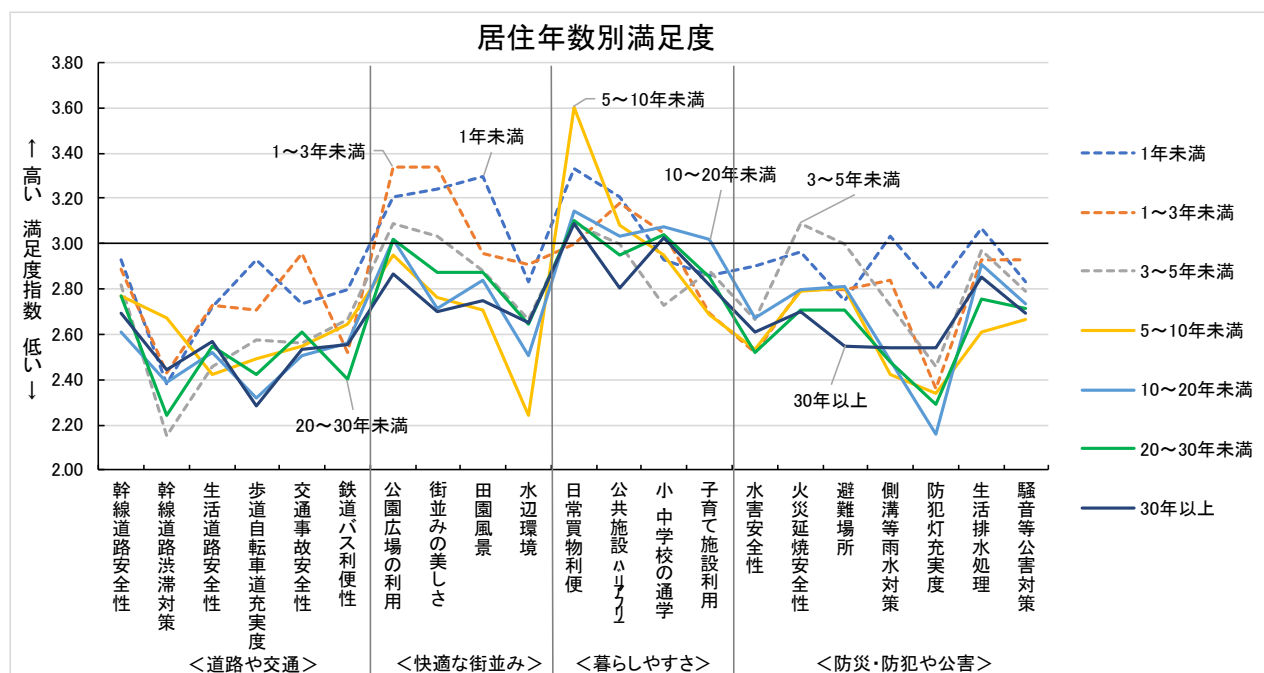


(居住年数別満足度)

- ・居住年数別満足度の全体的傾向を全項目単純平均で見ると、居住年数が短いほど満足度が高く、30年以上が最も不満度が高い値となっているが、概ね5年を超えた階層で不満度が高まる傾向が見られる。
- ・居住年数にかかわらず不満度が高いのは道路・交通に関する項目で、特に「幹線道路渋滞対策」は共通して不満度が高い項目となっている。このほか防災・防犯の「防犯灯充実度」についても共通して不満度が高い項目である。
- ・暮らしやすさに関する各項目については、居住年数にかかわらず比較的満足度が高い傾向にある。
- ・快適な街並みに関する項目にでは、居住年数が短い階層で満足度が高く、居住年数が長くなるにしたがって不満度が高まる傾向が見られる。

		居住年数別の満足度指数						
		1. 1年未満 N=31	2. 1～3年未満 N=46	3. 3～5年未満 N=36	4. 5～10年未満 N=67	5. 10～20年未満 N=129	6. 20年～30年未満 N=151	7. 30年以上 N=531
道路や交通	幹線道路安全性	2.93	2.89	2.82	2.77	2.61	2.77	2.69
	幹線道路渋滞対策	2.38	2.43	2.15	2.67	2.39	2.24	2.45
	生活道路安全性	2.72	2.73	2.45	2.42	2.52	2.54	2.57
	歩道自転車道充実度	2.93	2.70	2.58	2.49	2.32	2.42	2.28
	交通事故安全性	2.73	2.95	2.56	2.55	2.51	2.61	2.54
	鉄道バス利便性	2.80	2.52	2.67	2.65	2.56	2.40	2.56
快適な街並み	公園広場の利用	3.21	3.34	3.09	2.95	3.02	3.02	2.86
	街並みの美しさ	3.24	3.34	3.03	2.76	2.72	2.88	2.70
	田園風景	3.30	2.95	2.88	2.71	2.84	2.88	2.75
	水辺環境	2.83	2.91	2.67	2.24	2.51	2.65	2.65
暮らしやすさ	日常買物利便	3.33	3.00	3.09	3.60	3.15	3.10	3.09
	公共施設バリアフリー	3.21	3.18	3.00	3.08	3.03	2.95	2.81
	小・中学校の通学	2.93	3.05	2.73	2.95	3.08	3.04	3.03
	子育て施設利用	2.86	2.69	2.88	2.69	3.02	2.86	2.82
防災・防犯や公害	水害安全性	2.90	2.52	2.67	2.53	2.67	2.52	2.61
	火災延焼安全性	2.96	2.80	3.09	2.79	2.80	2.71	2.70
	避難場所	2.75	2.80	3.00	2.81	2.81	2.71	2.55
	側溝等雨水対策	3.03	2.84	2.73	2.42	2.49	2.48	2.54
	防犯灯充実度	2.80	2.36	2.45	2.34	2.16	2.29	2.54
	生活排水処理	3.07	2.93	2.97	2.61	2.91	2.76	2.85
	騒音等公害対策	2.83	2.93	2.79	2.67	2.74	2.72	2.70
全項目単純平均		2.94	2.85	2.78	2.70	2.71	2.69	2.68

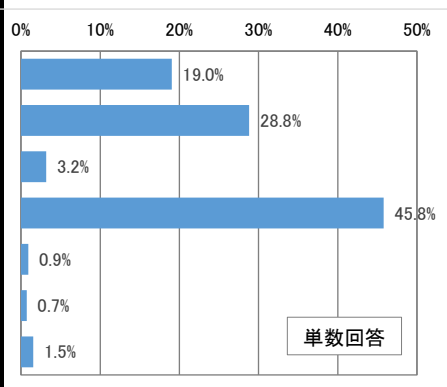
※破線は3.0(中央値)を示す



問3 日常の買物において、最も利用する移動手段等はどれですか？（1つに○をつけてください）

- 1 徒歩 2 自転車 3 バス等の公共交通機関
4 自家用車 5 他者に依頼（宅配サービス、親族等） 6 その他

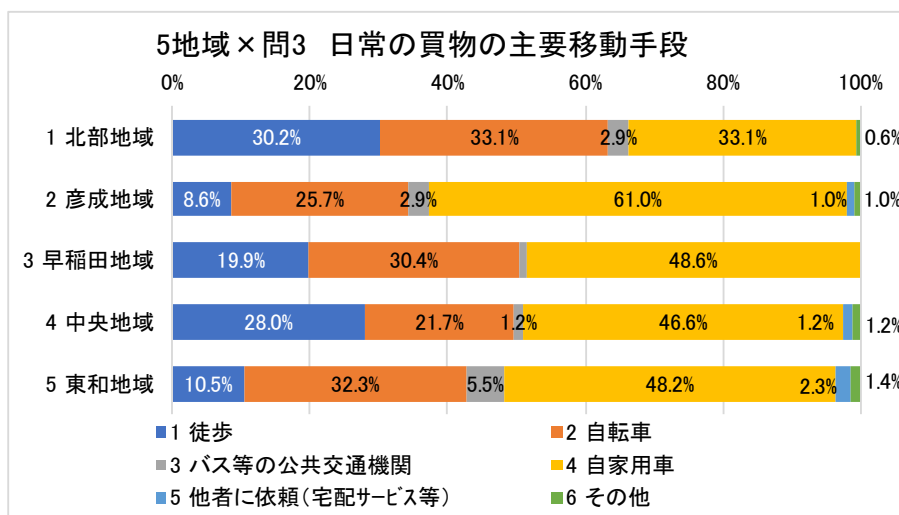
選択項目	回答数	割合
1 徒歩	185	19.0%
2 自転車	280	28.8%
3 バス等の公共交通機関	31	3.2%
4 自家用車	445	45.8%
5 他者に依頼（宅配サービス、親族等）	9	0.9%
6 その他	7	0.7%
未回答	15	1.5%
合計	972	100.0%



- ・日常の買い物の主要な移動手段は、「自家用車」が 45.8%、以下「自転車」28.8%、「徒歩」19.0%となっており、「公共交通機関」は 3.2%と少なくなっている。

その他の記入内容

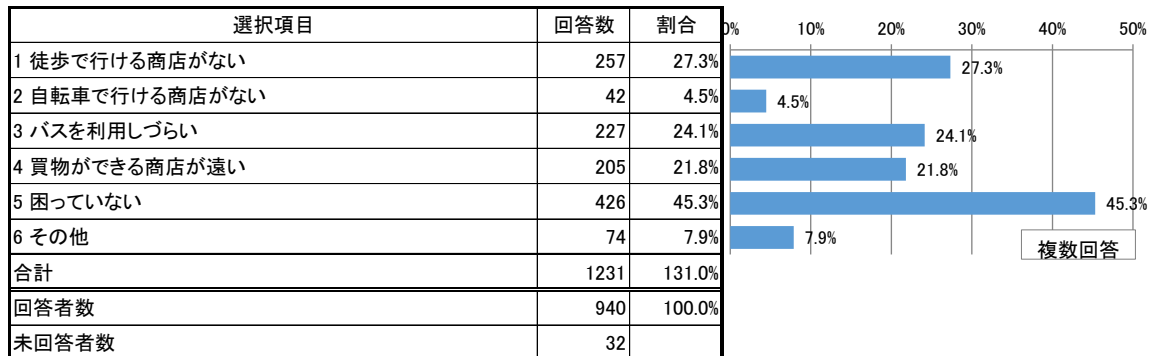
分類	記入数
バイク	4
家族・友人に依頼	3
その他	3
記入合計	10



- ・地域別に見ると、北部地域では「徒歩」と「自転車」が 63.3%とほぼ3分の2となっている。
- ・彦成地域は「自家用車」が 61.0%で5地域の中で最も多い。
- ・早稲田地域と中央地域は、「徒歩」、「自転車」の合計が約50%で、「自家用車」が 48.6%、46.6%と、ほぼ同じ移動手段の傾向となっている。
- ・東和地域は、公共交通機関が 5.5%で5地域の中で最も多いことが特徴となっている。

問4 日常の買物において困っていることはありますか？(複数回答可)

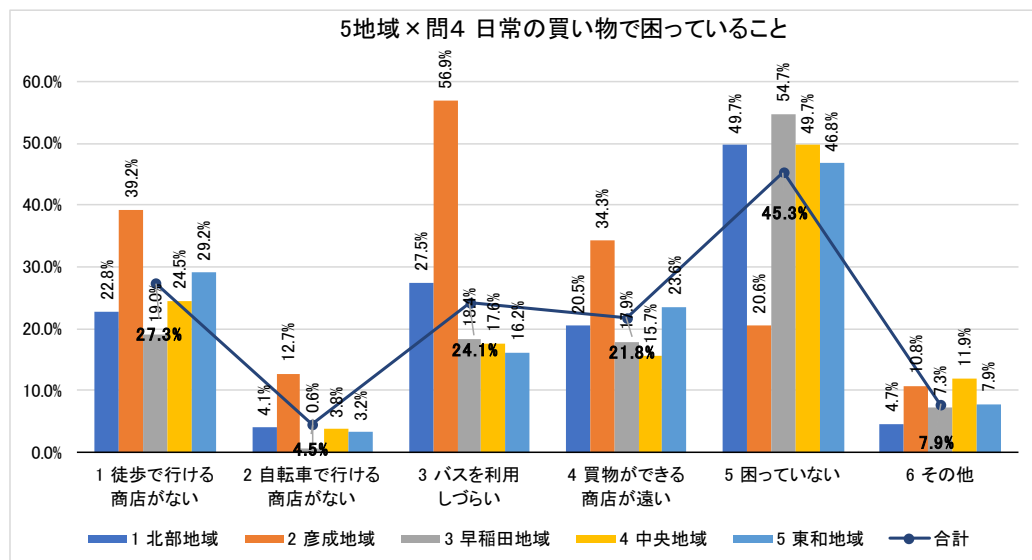
- | | |
|---------------|----------------|
| 1 徒歩で行ける商店がない | 2 自転車で行ける商店がない |
| 3 バスを利用しづらい | 4 買物ができる商店が遠い |
| 5 困っていない | 6 その他 |



・日常の買い物で困っていることについては、「困っていない」が45.3%で最も多い。以下、「徒歩で行ける商店がない」27.3%、「バスを利用しづらい」24.1%、「買い物できる商店が遠い」21.8%と続いている。

その他の記入内容

分類	記入数
店が少ない(専門店がない)	24
バス路線の廃止・バスが不便	12
店が潰れた	9
店舗が遠い・営業時間	8
アクセスに問題(渋滞・歩道の安全)	7
大型店がない	6
将来(歳を取ってから)が心配	6
駐車場・駐輪場が不足	3
その他	6
記入合計	81



・地域別に見ると、全体の傾向と異なる傾向を示しているのは彦成地域で、「困っていない」が20.6%で全体とは25ポイント少ない一方、「バスを利用しづらい」が56.9%(全体より32.8ポイント多い)、「徒歩で行ける商店がない」39.2%(同11.9ポイント)、「買い物できる商店が遠い」34.3%(同12.5ポイント)など買い物利便に大きな差があることを示している。

問5 市街化調整区域において、資材置き場や駐車場などの土地利用が行われている状況について、どのようにお考えですか？(1つに○をつけてください)

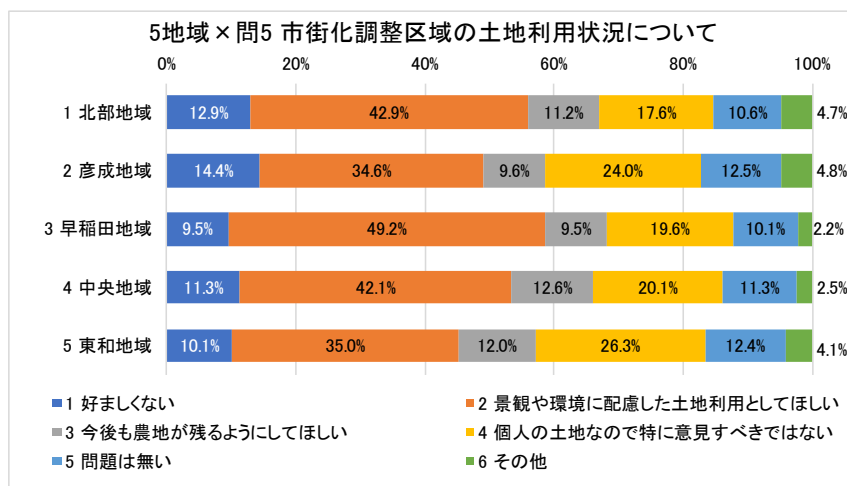
- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 好ましくない | 2 景観や環境に配慮した土地利用としてほしい |
| 3 今後も農地が残るようにしてほしい | 4 個人の土地なので特に意見すべきではない |
| 5 問題は無い | 6 その他 |



・市街化調整区域の土地利用状況に対しては、「景観や環境に配慮した土地利用を」が39.6%と4割近い回答となっている。これに続くのは「個人の土地なので特に意見すべきではない」で「景観や環境に配慮した・・・」のほぼ半分の21.0%である。

その他の記入内容

分類	記入数
資材置き場の問題点(環境や周辺交通など)	12
整備・管理が必要	7
開発・有効利用が必要	8
分からない・興味がない	6
安全が確保されていれば良い	3
緑地化が必要	3
その他	5
記入合計	44

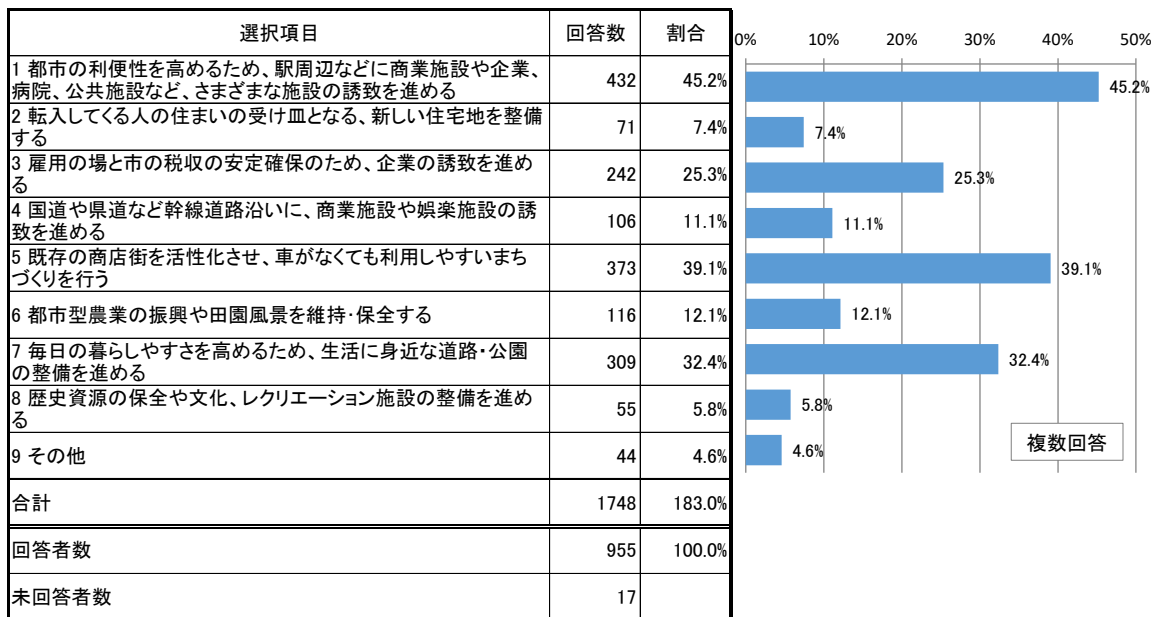


・選択肢ごとに最も多く選択された地域を見ると、「好ましくない」は彦成地域の14.4%、「景観や環境に配慮した土地利用を」は早稲田地域の49.2%「今後も農地が残るように」は中央地域の12.6%、「個人の土地なので特に意見すべきではない」は東和地域の26.3%、「特に問題はない」は彦成地域の12.5%となっているが、地域間の変動は小さい。

2-2 三郷市全体のこれからのまちづくりについて

問6 これからの三郷市全体の土地利用を考えるにあたって、どのような取り組みが望ましいと思われますか？(2つ以内で○をつけてください)

- 1 都市の利便性を高めるため、駅周辺などに商業施設や企業、病院、公共施設など、さまざまな施設の誘致を進める
- 2 転入してくる人の住まいの受け皿となる、新しい住宅地を整備する
- 3 雇用の場と市の税収の安定確保のため、企業の誘致を進める
- 4 国道や県道など幹線道路沿いに、商業施設や娯楽施設の誘致を進める
- 5 既存の商店街を活性化させ、車がなくても利用しやすいまちづくりを行う
- 6 都市型農業の振興や田園風景を維持・保全する
- 7 毎日の暮らしやすさを高めるため、生活に身近な道路・公園の整備を進める
- 8 歴史資源の保全や文化、レクリエーション施設の整備を進める
- 9 その他

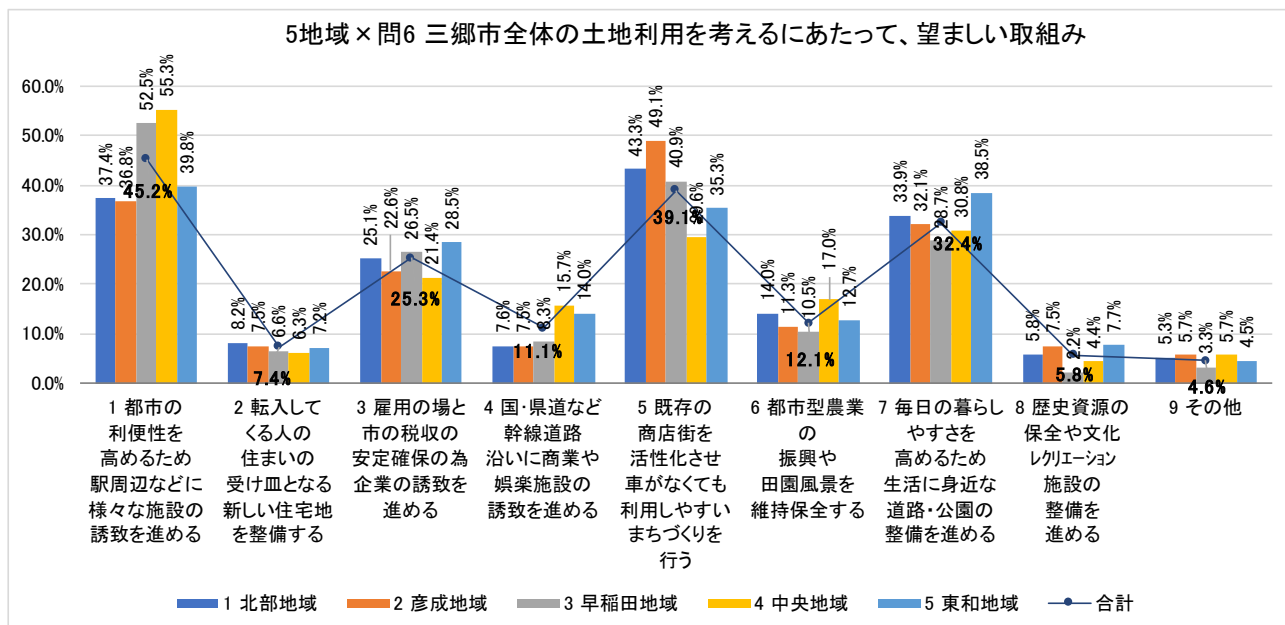


・今後の三郷市の土地利用を考えるにあたって望ましい取り組みについては、「駅周辺などにさまざまな施設の誘致を進める」が最も多く 45.2%、以下「車がなくても利用しやすいまちづくりを行う」39.1%、「生活に身近な道路・公園の整備を進める」32.4%、「企業の誘致を進める」25.3%と続いている。

・「都市型農業の振興や田園風景を維持・保全」12.1%、「幹線道路沿いに商業・娯楽施設の誘致を進める」11.1%、「新しい住宅地を整備」7.4%、「文化、レクリエーション施設の整備」5.8%の各項目は、相対的に選択が少ない。

その他の記入内容

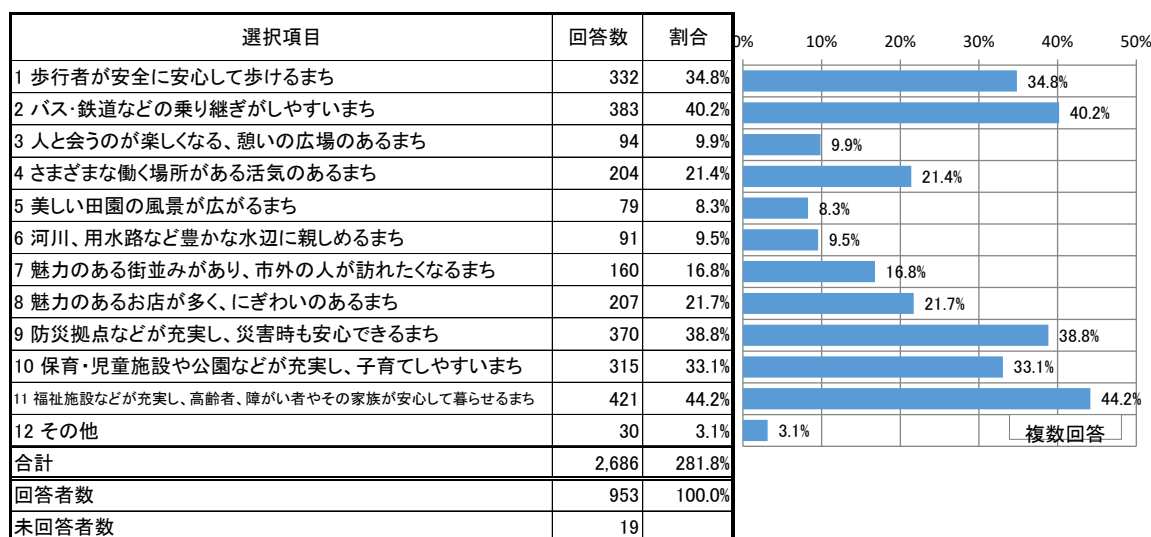
分類	記入数
(誘致の前に)交通網の充実	11
学校・幼稚園・保育園を誘致	7
子どもや高齢者に優しいまちづくり	5
駅周辺に施設の誘致・商業施設の誘致	4
病院を誘致	3
防災・防犯	3
スポーツ施設を整備	3
自然環境の維持・提供	2
現状のままでよい	2
環境や景観の改善	2
既存の団地を有効活用	1
区画整理	1
人口増加	1
その他	1
記入合計	46



- ・地域別に見ると、各地域とも総数に近い傾向を示すが、北部地域と彦成地域では第一位に「車がなくとも利用しやすいまちづくりを行う」があげられていることが特徴となっている。
- ・また、東和地域で「生活に身近な道路・公園の整備を進める」が「駅周辺などにさまざまな施設の誘致を進める」に近い選択となっていること、また、早稲田地域、中央地域で「駅周辺などにさまざまな施設の誘致を進める」が50%を超えて選択されていること等、地域の中の鉄道駅の有無や商業集積の有無など各地域の地域特性を反映した結果が示されている。

問7 将来、人口減少が見込まれる中で持続可能な選ばれる都市とするためには、魅力や特徴のあるまちづくりを進めていく視点が必要となります。
あなたが生活していく上で、どのようなまちづくりのイメージが考えられますか？(3つ以内で○をつけてください)

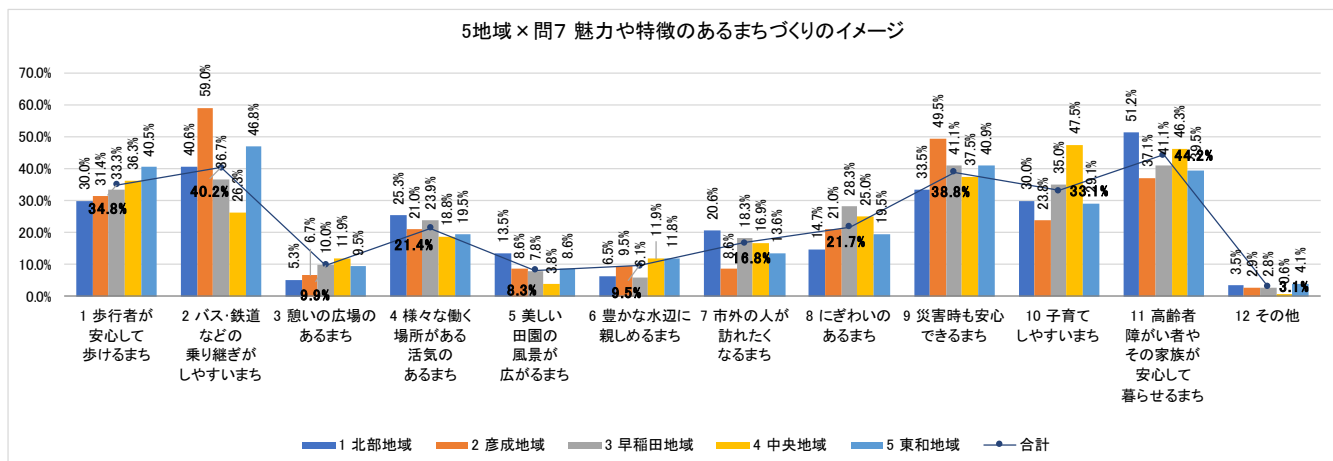
- 1 歩行者が安全に安心して歩けるまち
- 2 バス・鉄道などの乗り継ぎがしやすいまち
- 3 人と会うのが楽しくなる、憩いの広場のあるまち
- 4 さまざま働く場所がある活気のあるまち
- 5 美しい田園の風景が広がるまち
- 6 河川、用水路など豊かな水辺に親しめるまち
- 7 魅力のある街並みがあり、市外の人を訪れたいまち
- 8 魅力のあるお店が多く、にぎわいのあるまち
- 9 防災拠点などが充実し、災害時も安心できるまち
- 10 保育・児童施設や公園などが充実し、子育てしやすいまち
- 11 福祉施設などが充実し、高齢者、障がい者やその家族が安心して暮らせるまち
- 12 その他



- ・将来のまちづくりのイメージについては、「高齢者、障がい者やその家族が安心して暮らせるまち」44.2%が最も多く、次いで「バス・鉄道などの乗り継ぎがしやすいまち」40.2%、以下「災害時も安心できるまち」38.8%、「安全に安心して歩けるまち」34.8%、「子育てしやすいまち」33.1%の選択が多く、福祉、交通利便、防災、安全な歩行空間、子育て環境を重視したまちづくりが望まれている。
- ・憩い、活気、田園風景、水辺、魅力などについては、相対的にまちづくりのイメージとしての選択が少ない傾向が見られる。

その他の記入内容

分類	記入数
治安や防災が良い	5
教育施設の充実	4
道路が整備されたまち	3
緑豊かな景観・環境	3
拠点へのアクセスが良い・まとまっているまち	3
犬と遊べる公園・イベントがある	2
税金等を下げて他の自治体と差をつける	2
特色ある景観・SNS映えるスポットが多くあるまち	2
釣り堀などのレクリエーション施設がある	1
都会に近い田舎のまち	1
その他	4
記入合計	30

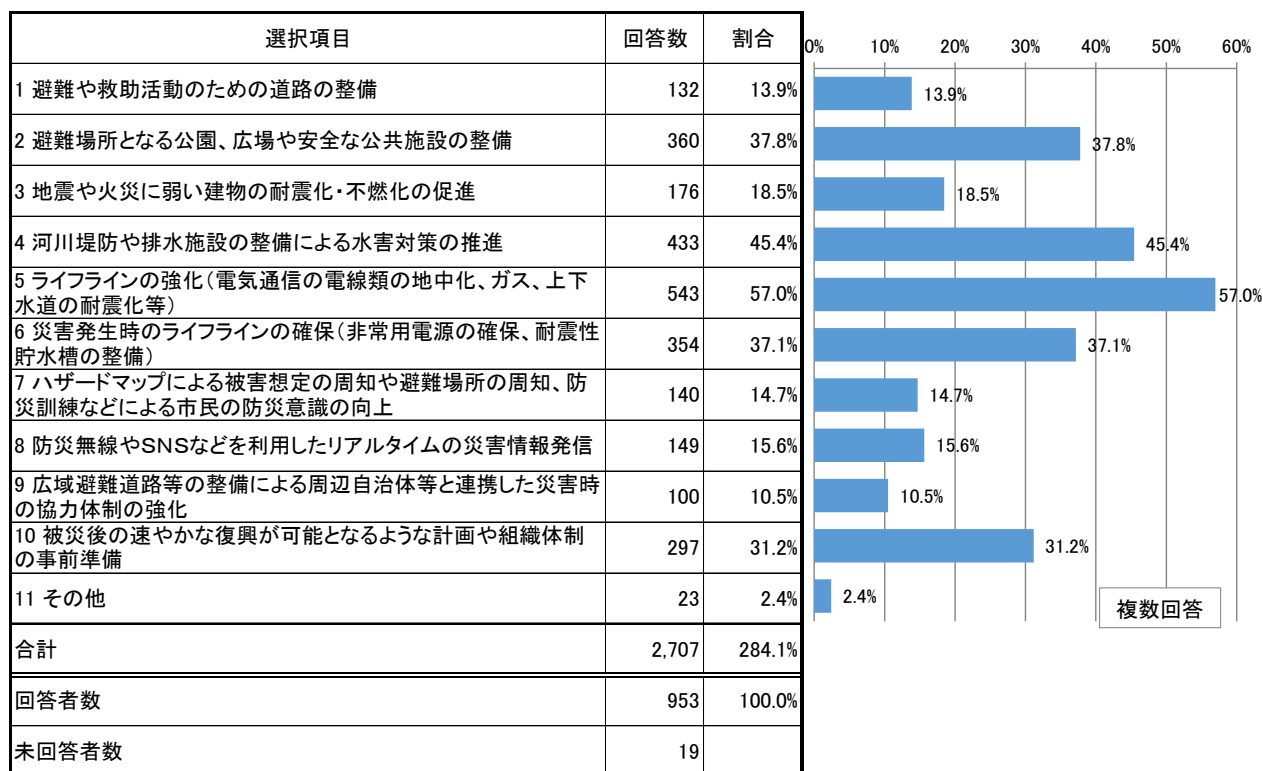


・地域別の傾向は以下の通りとなっている（平均に比べて選択割合が約5ポイント以上多い項目）。

北部地域	彦成地域	早稲田地域	中央地域	東和地域
・美しい田園の風景が広がるまち ・高齢者障がい者やその家族が安心して暮らせるまち	・バス・鉄道などの乗り継ぎがしやすいまち ・災害時も安心できるまち	・魅力のあるお店が多くにぎわいのあるまち	・子育てしやすいまち	・安全に安心して歩けるまち ・バス・鉄道などの乗り継ぎがしやすいまち

問8 近年では台風や大雨による大規模な自然災害が各地で頻発しています。また今後予想される首都直下型地震への備えとして、今後のまちづくりにおいて、「災害に強いまちの実現」は重要なテーマです。災害に対し安全なまちづくりを進めるには、どのようなことを優先的に取り組むことが必要だと思いますか？(3つ以内で○をつけてください)

- 1 避難や救助活動のための道路の整備
- 2 避難場所となる公園、広場や安全な公共施設の整備
- 3 地震や火災に弱い建物の耐震化・不燃化の促進
- 4 河川堤防や排水施設の整備による水害対策の推進
- 5 ライフラインの強化（電気通信の電線類の地中化、ガス、上下水道の耐震化等）
- 6 災害発生時のライフラインの確保（非常用電源の確保、耐震性貯水槽の整備）
- 7 ハザードマップによる被害想定のお知らせや避難場所の周知、防災訓練などによる市民の防災意識の向上
- 8 防災無線やSNSなどを利用したリアルタイムの災害情報発信
- 9 広域避難道路等の整備による周辺自治体等と連携した災害時の協力体制の強化
- 10 被災後の速やかな復興が可能となるような計画や組織体制の事前準備
- 11 その他



- ・災害に対し安全なまちづくりのため優先的に取り組む必要があることについては、「ライフラインの強化」が57.0%で最も多く、以下「水害対策の推進」45.4%、「避難場所となる施設の整備」37.8%、「ライフラインの強化」37.1%、「被災後の復興が可能となるような計画や組織体制の事前準備」31.2%と続いている。
- ・その他の「道路の整備」、「建物の耐震化不燃化の促進」、「市民の防災意識の向上」、「リアルタイムの災害情報の発信」、「災害時の広域連携協力体制の強化」は20%未満となっている。

その他の記入内容

分類	記入数
避難所の確保・環境の整備（冷・暖房）	6
避難の介助・サポート体制	5
防災無線等市民への周知・啓蒙・訓練	4
指定避難所以外にも公民館・大規模マンション（水害時）等を避難場所として整備	3
雨水・洪水対策	3
近隣住民のつながり・助け合いの体制づくり	3
ペット受け入れ可能な避難所	2
情報弱者への配慮・対応策	1
その他	5
記入合計	32

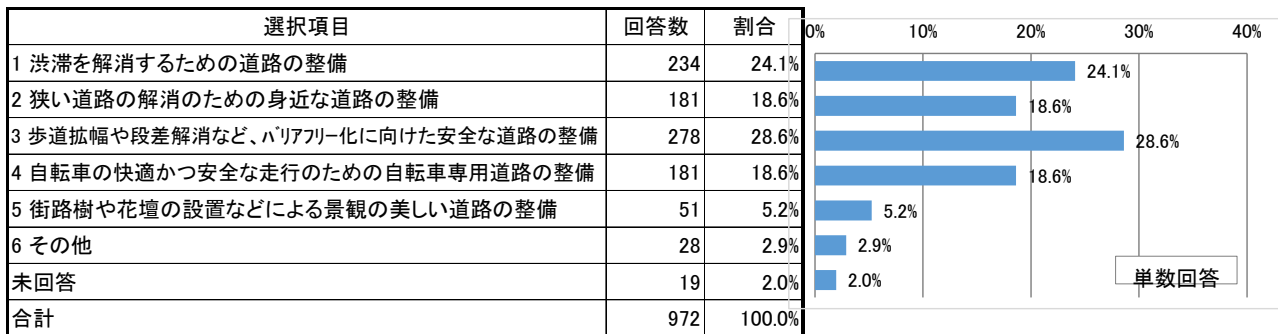
	1 避難や救助活動のための道路の整備	2 避難場所となる公園、広場や安全な公共施設の整備	3 地震や火災に弱い建物の耐震化・不燃化の促進	4 河川堤防や排水施設の整備による水害対策の推進	5 ライフラインの強化	6 災害発生時のライフラインの確保	7 ハザードマップや避難場所の周知、防災訓練などによる市民の防災意識の向上	8 防災無線やSNSなどを利用したリアルタイムの災害情報発信	9 周辺自治体等と連携した災害時の協力体制の強化	10 被災後の速やかな復興が可能な計画や組織体制の事前準備
1 北部地域	11.1%	36.3%	19.9%	31.0%	65.5%	38.6%	17.5%	12.9%	12.3%	33.3%
2 彦成地域	10.5%	40.0%	18.1%	50.5%	54.3%	22.9%	16.2%	14.3%	8.6%	35.2%
3 早稲田地域	13.3%	38.9%	16.1%	42.2%	57.8%	46.7%	13.3%	14.4%	13.3%	26.1%
4 中央地域	11.9%	30.2%	22.0%	59.1%	55.3%	39.0%	17.6%	18.2%	6.9%	25.8%
5 東和地域	16.7%	41.6%	14.0%	47.1%	55.7%	35.7%	12.7%	17.2%	9.5%	34.4%
総数	13.9%	37.8%	18.5%	45.4%	57.0%	37.1%	14.7%	15.6%	10.5%	31.2%

総数よりも5%以上割合が高い地域

- ・地域別に見ると、各地域とも総数の傾向と大きな開きは見られない。
- ・総数を5%以上上回る地域、項目は、中央地域の「河川、排水施設整備による水害対策」、北部地域の「ライフラインの強化」、及び早稲田地域の「災害発生時のライフラインの確保」となっている。

問9 道路の整備に関して、特にどのようなことに優先的に取り組むことが必要だと思いますか？（1つに○をつけてください）

- 1 渋滞を解消するための道路の整備
- 2 狭い道路の解消のための身近な道路の整備
- 3 歩道の拡幅や段差の解消など、バリアフリー化に向けた安全な道路の整備
- 4 自転車の快適かつ安全な走行のための自転車専用道路の整備
- 5 街路樹や花壇の設置などによる景観の美しい道路の整備
- 6 その他



- 道路の整備については、「歩道の拡幅や段差の解消などバリアフリー化に向けた安全な道路の整備」が最も多く 28.6%、次いで「渋滞を解消するための道路の整備」24.1%となっている。以下、「狭い道路の解消のための身近な道路の整備」と「快適かつ安全な走行のための自転車専用道路の整備」がともに 18.6%で並んでいる。

その他の記入内容

分類	記入数
交通規制の強化(路上駐車・進入禁止等)	7
歩道の確保	7
街灯の整備	4
歩道と自転車道の分離	3
橋の増設(渋滞解消)	3
用水路の安全確保(蓋掛け等)	2
自転車のマナー強化	2
信号・カーブミラー等の設置	2
通学・通勤時の安全性(幹線道路)	1
その他	3
記入合計	34

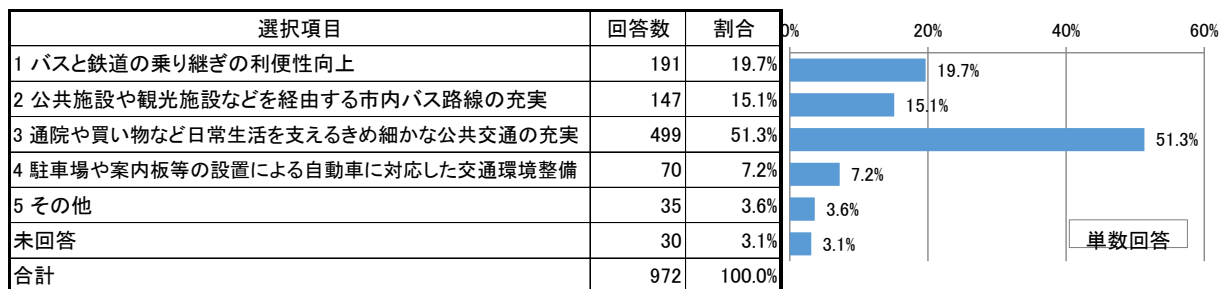
地域別道路整備に向けて必要な取組

	1 渋滞を解消するための道路の整備	2 狭い道路の解消のための身近な道路の整備	3 歩道の拡幅や段差の解消など、バリアフリー化に向けた安全な道路の整備	4 自転車の快適かつ安全な走行のための自転車専用道路の整備	5 街路樹や花壇の設置などによる景観の美しい道路の整備	6 その他
1 北部地域	34.1%	13.5%	22.9%	22.9%	4.7%	1.8%
2 彦成地域	25.0%	22.1%	25.0%	20.2%	3.8%	3.8%
3 早稲田地域	29.1%	17.0%	33.5%	13.2%	3.8%	3.3%
4 中央地域	23.6%	23.6%	32.3%	12.4%	6.2%	1.9%
5 東和地域	14.9%	20.8%	31.7%	24.0%	4.5%	4.1%
合計	24.6%	19.0%	29.2%	19.0%	5.4%	2.9%

- 地域別に見ると、「渋滞対策」について北部地域と早稲田地域で選択が多く、また「バリアフリー化など安全な道路整備」は早稲田地域、中央地域で選択が多い。
- 東和地域では「渋滞対策」の選択が少ない一方、「自転車専用道路の整備」の選択が多くなっている。

問 10 交通環境の改善について、どのようなことに重点的に取り組む必要があると思われますか？（1 つに ○をつけてください）

- 1 バスと鉄道の乗り継ぎの利便性向上
- 2 公共施設や観光施設などを経由する市内バス路線の充実
- 3 通院や買い物など日常生活を支えるきめ細かな公共交通の充実
- 4 駐車場や案内板等の設置による自動車に対応した交通環境整備
- 5 その他



- 交通環境の改善に向けて重点的に取り組むべきことについては、「日常生活を支えるきめ細かな公共交通の充実」が 51.3% で突出して多くなっている。

その他の記入内容

分類	記入数
バスの増便・利便の向上	10
歩道の充実、交通安全施設の設置	8
大型車の進入制御・渋滞対策	6
バス停の施設整備（駐輪場の設置・運行状況の表示等）	3
鉄道路線を増やす	1
レンタサイクル（駅～駅間）	1
その他	6
記入合計	35

地域別 交通環境の改善について重点的に取り組むべきこと

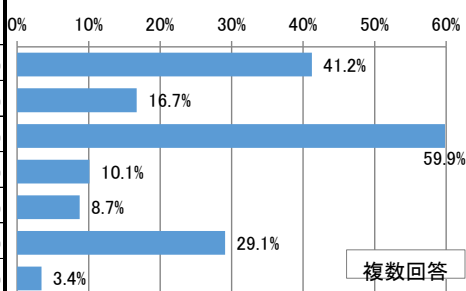
	1 バスと鉄道の乗り継ぎの利便性向上	2 公共施設などを経由する市内バス路線の充実	3 日常生活を支えるきめ細かな公共交通の充実	4 駐車場等の設置による交通環境整備	5 その他
1 北部地域	15.6%	13.8%	61.1%	7.2%	2.4%
2 彦成地域	21.9%	20.0%	45.7%	8.6%	3.8%
3 早稲田地域	21.2%	11.7%	57.0%	6.1%	3.9%
4 中央地域	17.2%	19.1%	45.2%	12.7%	5.7%
5 東和地域	22.8%	11.4%	56.2%	5.5%	4.1%
総数	20.3%	15.6%	53.0%	7.4%	3.7%

- 地域別においても、各地域とも「日常生活を支えるきめ細かな公共交通の充実」が多くなっており、北部地域で特に多く選択されている。
- 「バスと鉄道の乗り継ぎ利便」については、鉄道駅が位置する北部地域、中央地域で選択が少ない反面、彦成地域、東和地域で選択が多くなっている。
- 「市内バス路線の充実」については、彦成地域、中央地域での選択が多くなっている。

問 11 三郷市における緑の保全・整備を考える上で、どのようなことに重点的に取り組む必要があると思われますか？(2つ以内で○をつけてください)

- 1 河川沿いなどの緑を保全する
- 2 寺社林や屋敷林などの歴史のある緑を保全する
- 3 公園や街路樹を整備し、緑を増やす
- 4 戸建て住宅やマンションなど、住宅地で緑を増やす
- 5 店舗や事務所、工場の敷地など、企業の敷地で緑を増やす
- 6 公共施設や病院など、公的施設の敷地で緑を増やす
- 7 その他

選択項目	回答数	割合
1 河川沿いなどの緑を保全する	387	41.2%
2 寺社林や屋敷林などの歴史のある緑を保全する	157	16.7%
3 公園や街路樹を整備し、緑を増やす	562	59.9%
4 戸建て住宅やマンションなど、住宅地で緑を増やす	95	10.1%
5 店舗や事務所、工場の敷地など、企業の敷地で緑を増やす	82	8.7%
6 公共施設や病院など、公的施設の敷地で緑を増やす	273	29.1%
7 その他	32	3.4%
合計	1,588	169.1%
回答者数	939	100.0%
未回答者数	33	



・緑の保全整備に重点的に取り組むべきことについては、「公園や街路樹を整備し緑を増やす」が 59.9%と 6 割近く選択となっており、これに続くのは「河川沿いなどの緑を保全」41.2%、「公的施設の敷地で緑を増やす」29.1%である。

その他の記入内容

分類	記入数
街路樹の管理(剪定・雑草の除去)	16
これ以上緑は不要	2
三郷駅近くに緑を増やす(鳥が多いので)	1
植生に合った緑を増やす(災害時にも役立つように)	1
私有地の緑の整備・手入れ	1
楽しめる植栽(クルミの木など)	1
既存の樹木の伐採はやめてほしい	1
線路沿いの緑化	1
自然型の堤防整備	1
公園整備	1
その他	2
記入合計	28

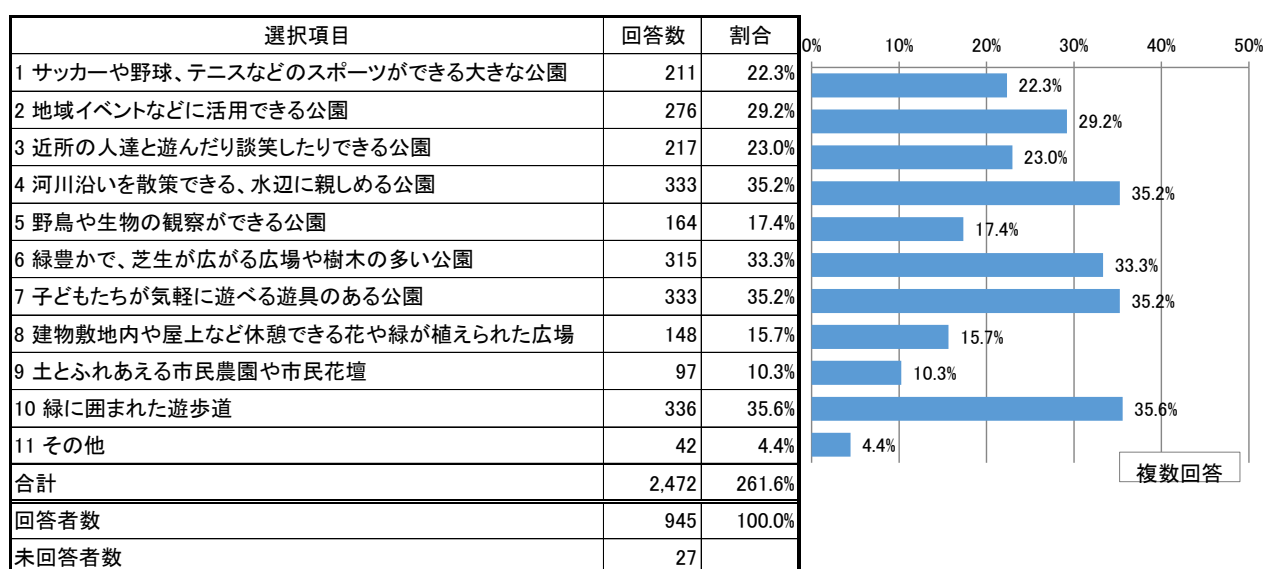
地域別緑の保全整備について

	1 河川沿いなどの緑を保全	2 寺社林などの歴史のある緑を保全	3 公園や街路樹を整備し緑を増やす	4 戸建て住宅など住宅地で緑を増やす	5 事務所、工場の敷地など企業の敷地で緑を増やす	6 公的施設の敷地で緑を増やす	7 その他
1 北部地域	33.5%	16.2%	64.1%	12.6%	10.8%	27.5%	4.2%
2 彦成地域	37.9%	18.4%	44.7%	10.7%	9.7%	35.0%	3.9%
3 早稲田地域	44.4%	18.3%	65.0%	9.4%	7.2%	29.4%	2.2%
4 中央地域	43.1%	16.9%	65.6%	10.0%	9.4%	24.4%	3.1%
5 東和地域	44.2%	17.2%	57.2%	8.8%	5.6%	29.8%	4.2%
合計	41.2%	16.7%	59.9%	10.1%	8.7%	29.1%	3.4%

- ・地域別に見ると、全体の傾向は各地域とも近似している。
- ・この中で、彦成地域が「公園や街路樹を整備し緑を増やす」の選択が他地域に比べて少ないのに対して「公的施設の敷地で緑を増やす」の選択が多いことがやや異なる点となっている。

問 12 都市における公園や緑地は、レクリエーションの場、環境保全、景観形成、防災機能などの多様な役割があります。三郷市における公園や緑地はどのようなものがあるかと思われるか？(3つ以内で○をつけてください)

- 1 サッカーや野球、テニスなどのスポーツができる大きな公園
- 2 地域イベントなどに活用できる公園
- 3 近所の人達と遊んだり談笑したりできる公園
- 4 河川沿いを散策できる、水辺に親しめる公園
- 5 野鳥や生物の観察ができる公園
- 6 緑豊かで、芝生が広がる広場や樹木の多い公園
- 7 子どもたちが気軽に遊べる遊具のある公園
- 8 建物の敷地内や屋上など気軽に休憩できる花や緑が植えられた広場
- 9 土とふれあえる市民農園や市民花壇
- 10 緑に囲まれた遊歩道
- 11 その他



- ・三郷市にあるとよい公園・緑地については、「緑に囲まれた遊歩道」35.6%、「水辺に親しめる公園」35.2%、「気軽に遊べる遊具のある公園」35.2%、「芝生が広がる広場や樹木の多い公園」33.3%の4項目がほぼ横並びで選択されている。
- ・選択が少ない項目としては、「市民農園や市民花壇」10.3%、「建物の敷地内など気軽に休憩できる広場」15.7%、「野鳥や生物の観察ができる公園」17.4%などとなっている

その他の記入内容

分類	記入数
管理が行き届いた公園(トイレ・樹木の手入れ・雑草の除去・防犯)	13
自由に遊べる公園(禁止事項が多い)	4
健康づくりができる公園(健康遊具・ウォーキングコースなど)	4
ペットと遊べる公園(ドッグランなど)	4
災害時に避難できる公園(収容可能人数)	4
公園は不要(遊ぶ子供がいない)	2
様々なイベントが開催できる公園(スケボー・アート・音楽など)	2
全天候型のスポーツ施設	1
老人のゲートボールに占拠されない公園	1
駐車場の確保	1
キャンプができる公園(オートキャンプ・グランピングなど)	1
幼児でもボール遊びができる公園	1
市民も楽しみ高齢者の雇用も生まれる公園(例:船橋のアンデルセン公園)	1
調整池や高架下を利用したスポーツ広場	1
その他	4
記入合計	44

・年齢層別の傾向では、以下のようになっている(上位3項目の多い順)。

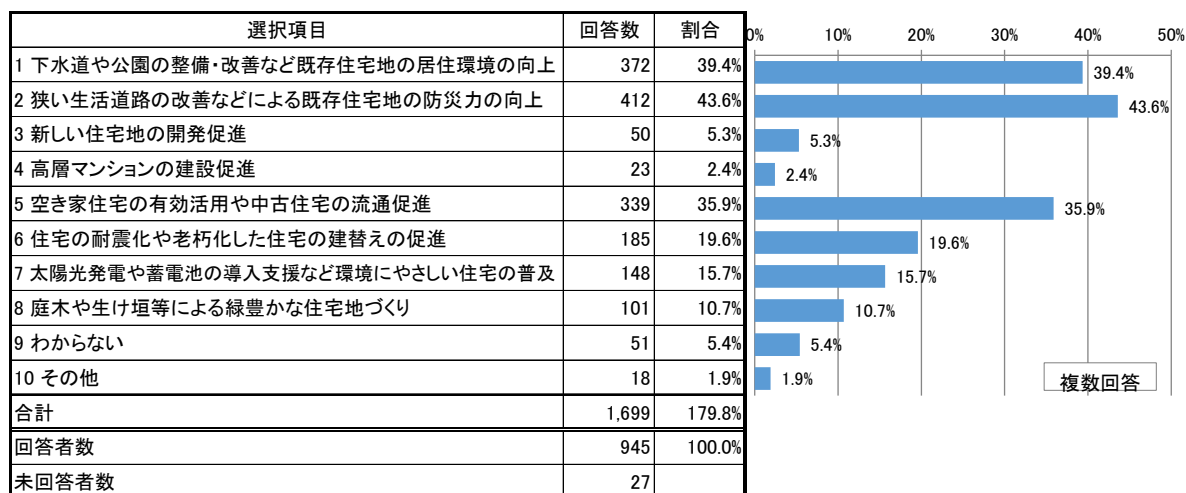
10～20代	30代	40代	50代	60代以上
・遊具のある公園 ・スポーツができる公園 ・イベントなどに活用できる公園	・遊具のある公園 ・イベントなどに活用できる公園 ・緑豊かな公園	・遊具のある公園 ・緑豊かな公園 ・緑に囲まれた遊歩道	・水辺に親しめる公園 ・緑に囲まれた遊歩道 ・イベントなどに活用できる公園 ・緑豊かな公園	・緑に囲まれた遊歩道 ・水辺に親しめる公園 ・緑豊かな公園

年齢層別あるとよい公園や緑

	総数	10～20代	30代	40代	50代	60代以上
1 サッカーなどのスポーツができる大きな公園	22.3%	42.2%	30.8%	28.0%	19.1%	16.5%
2 地域イベントなどに活用できる公園	29.2%	35.9%	34.2%	23.2%	34.4%	27.8%
3 近所の人達と遊んだり談笑したりできる公園	23.0%	20.3%	21.4%	21.3%	11.5%	27.8%
4 河川沿いを散策できる水辺に親しめる公園	35.2%	26.6%	21.4%	32.3%	42.7%	38.4%
5 野鳥や生物の観察ができる公園	17.4%	14.1%	6.8%	19.5%	11.5%	21.3%
6 緑豊かで芝生広場や樹木の多い公園	33.3%	29.7%	32.5%	35.4%	34.4%	32.8%
7 子どもたちが気軽に遊べる遊具のある公園	35.2%	54.7%	66.7%	42.1%	27.5%	24.5%
8 建物敷地内や屋上など気軽に休憩できる緑の広場	15.7%	21.9%	17.1%	11.0%	17.6%	15.6%
9 土とふれあえる市民農園や市民花壇	10.3%	3.1%	6.0%	7.3%	9.2%	13.7%
10 緑に囲まれた遊歩道	35.6%	18.8%	24.8%	37.2%	35.9%	39.9%

問 13 住宅地または個々の住宅について、今後どのような取り組みに力をいれていく必要があると思われますか？(2つ以内で○をつけてください)

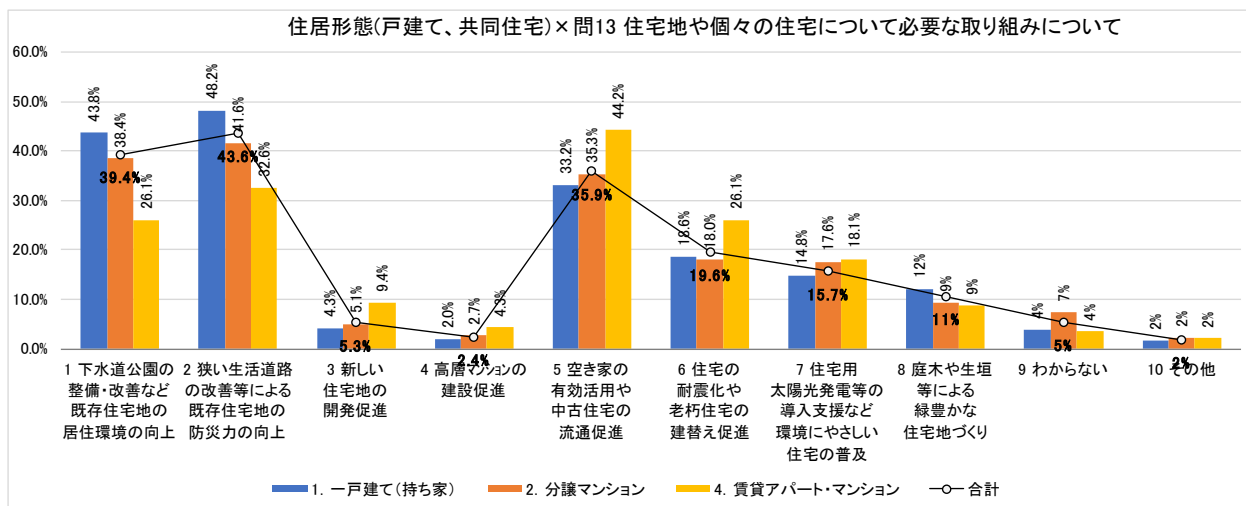
- 1 下水道や公園の整備・改善など既存住宅地の居住環境の向上
- 2 狭い生活道路の改善などによる既存住宅地の防災力の向上
- 3 新しい住宅地の開発促進
- 4 高層マンションの建設促進
- 5 空き家住宅の有効活用や中古住宅の流通促進
- 6 住宅の耐震化や老朽化した住宅の建替えの促進
- 7 住宅用太陽光発電や蓄電池の導入支援など環境にやさしい住宅の普及
- 8 庭木や生け垣等による緑豊かな住宅地づくり
- 9 わからない
- 10 その他



- ・住宅地または個々の住宅について力をいれていく必要がある取組については、「狭い生活道路の改善などによる既存住宅地の防災力の向上」43.6%、「下水道や公園の整備・改善など既存住宅地の居住環境の向上」39.4%、「空き家住宅の有効活用や中古住宅の流通促進」35.9%の3項目が主な選択項目である。
- ・反対に「高層マンションの建設促進」2.4%や「新しい住宅地の開発促進」5.3%についての選択は非常に少ない傾向となっている。

その他の記入内容

分類	記入数
下水道等の管理、環境の整備	4
災害対策・安全性	3
規制の強化(高層マンションの高さ制限、ミニ開発の規制など)	2
ゆとりある生活空間	2
既存住宅地の区画整理	1
防犯カメラの設置	1
調整区域の有効活用	1
商業施設の近くにマンションがあると街並みが魅力的に見える	1
公園の整備	1
その他	1
記入合計	17

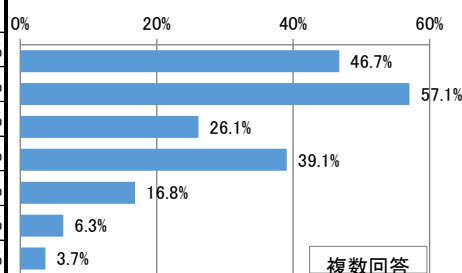


・住居形態（戸建て持ち家、分譲マンション、賃貸アパートを抽出）別に傾向を見ると、戸建て持ち家と分譲マンションでは「狭い生活道路の改善による防災力の向上」や「インフラ整備による居住環境の向上」の選択が多いのに比べて、賃貸アパートでは、「空き家の活用や中古住宅の流通促進」が最も多く選択され、既存住宅地の環境改善については分譲に比べ選択が少ない傾向にある。

問 14 現在、社会問題となっている空き家の増加対策として、どのような取り組みに力を入れていく必要があると思われますか？（複数回答可）

- 1 空き家の所有者による適正管理の周知・徹底
- 2 老朽化により倒壊等の危険性の高い空き家について解体支援を行う
- 3 空き家を地域の交流の場や地域グループ等の活動の場として活用する
- 4 空き家について不動産や建築、相続手続、法律の専門家に相談できる総合的な窓口の設置
- 5 空き家等の適正管理に必要な事業者の紹介
- 6 わからない
- 7 その他

選択項目	回答数	割合
1 空き家の所有者による適正管理の周知・徹底	444	46.7%
2 倒壊等の危険性の高い空き家の解体支援を行う	542	57.1%
3 空き家を地域の交流の場や活動の場として活用する	248	26.1%
4 空き家について専門家に相談できる総合的な窓口の設置	371	39.1%
5 空き家等の適正管理に必要な事業者の紹介	160	16.8%
6 わからない	60	6.3%
7 その他	35	3.7%
合計	1,860	195.8%
回答者数	950	100.0%
未回答者数	22	



・空き家の増加対策として必要な取組について

では、「倒壊等の危険性の高い空き家について解体支援」57.1%が最も多く、以下「所有者による適正管理の周知・徹底」46.7%、「空き家について専門家に相談できる総合的な窓口の設置」39.1%と続いている。

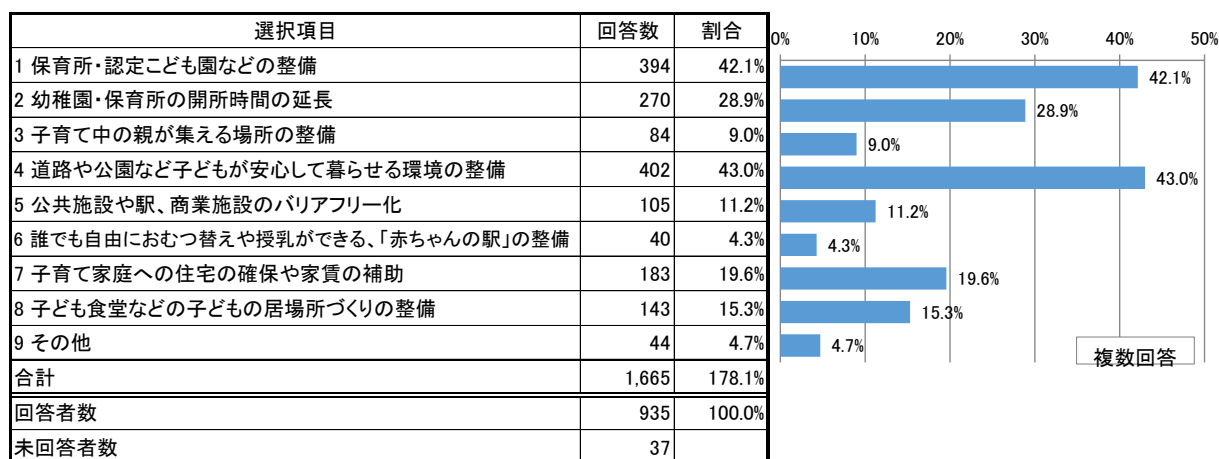
・「空き家を地域の交流の場や活動の場として活用」26.1%や「空き家等の適正管理に必要な事業者の紹介」16.8%の選択はやや少ない傾向となっている。

その他の記入内容

分類	記入数
市が管理して有効利用（高齢者・低所得者向け格安賃貸、災害などの仮設住宅）または処分できるようにする	17
罰則の強化、税制の改訂	7
市が業者と提携して再生・再利用	4
解体後の新築や土地の売却を支援	4
市が維持・管理	2
その他	2
記入合計	36

問 15 子育てしやすい環境を整備するためには、今後どのような取り組みに力をいれていく必要があると思われるですか？(2つ以内で○をつけてください)

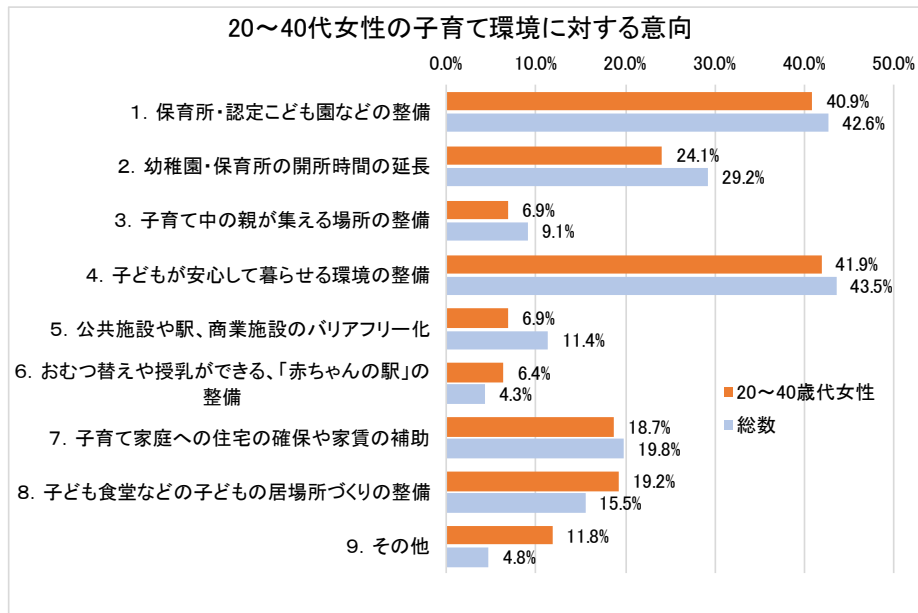
- 1 保育所・認定こども園などの整備
- 2 幼稚園・保育所の開所時間の延長
- 3 子育て中の親が集える場所の整備
- 4 道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備
- 5 公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化
- 6 誰でも自由におむつ替えや授乳ができる、「赤ちゃんの駅」の整備
- 7 子育て家庭への住宅の確保や家賃の補助
- 8 子ども食堂などの子どもの居場所づくりの整備
- 9 その他



- ・子育て環境整備のために必要な取組については、「子どもが安心して暮らせる環境の整備」43.0%が最も多く、ほぼこれに並んで「保育所・認定こども園などの整備」が42.1%となっている。
- ・以上からやや離れて、「幼稚園・保育所の開所時間の延長」28.9%、「子育て家庭への住宅の確保や家賃の補助」19.6%、「子どもの居場所づくりの整備」15.3%、「公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化」11.2%などが続いている。
- ・「子育て中の親が集える場所の整備」と「自由におむつ替えや授乳ができる、「赤ちゃんの駅」の整備」については10%未満の選択となっている。

その他の記入内容

分類	記入数
学童やファミリーサポートの整備・拡充	8
保育士の待遇・賃金の改善	5
子育て世帯への支援・助成	4
防犯体制の強化	3
ワーキングマザーの就業支援	3
保育園の充実、保育料の値下げ	4
公共空間のバリアフリー化	3
子どもの安全確保	2
図書館の児童用書籍の充実	1
医療の充実	1
保育士確保のための助成	1
幼稚園類似施設の無償化	1
不妊等に悩む人のコミュニティづくり	1
医療・公共施設への送迎サービス	1
出産にかかる費用の無償化	1
色々な世代が交流できる場所づくり	1
その他	4
記入合計	44



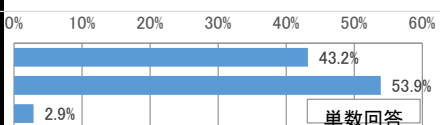
- 子育て環境については、直接育児に係わる女性の意見の傾向を見るために、20代から40代女性を抽出して集計を行った。
- しかしながら、総数との傾向の相違は特に認められなかったこと、また全体的に各項目とも選択割合が総数に比較して少ない傾向がある。

2-4 属性について

問 性別

1. 男 2. 女

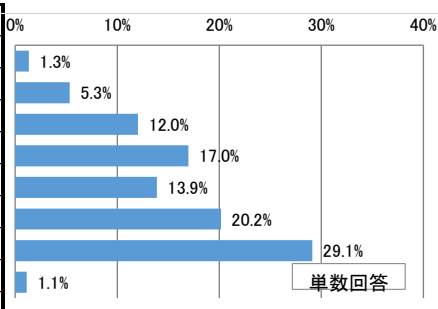
選択項目	回答数	割合
1. 男	420	43.2%
2. 女	524	53.9%
未回答	28	2.9%
合計	972	100.0%



問 年齢

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

選択項目	回答数	割合
1. 10代	13	1.3%
2. 20代	52	5.3%
3. 30代	117	12.0%
4. 40代	165	17.0%
5. 50代	135	13.9%
6. 60代	196	20.2%
7. 70代以上	283	29.1%
未回答	11	1.1%
合計	972	100.0%

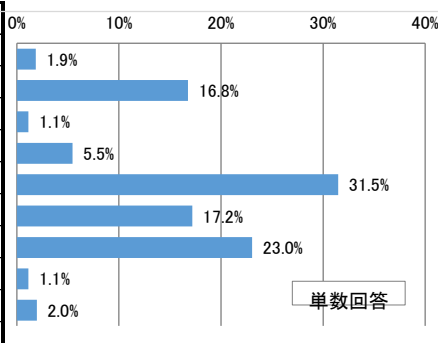


- ・回答者の年齢は、70代以上が最も多く 29.1%、60代 20.2%と高齢者の割合が高く、10代は 1.3%、20代は 5.3%と若い世代からの回答が少ない。

問 ご職業

1. 学生 2. 専業主婦（夫） 3. 農業（兼業も含む） 4. 自営業
5. 会社員・公務員 6. パート・アルバイト 7. 無職 8. その他

選択項目	回答数	割合
1. 学生	18	1.9%
2. 専業主婦（夫）	163	16.8%
3. 農業（兼業も含む）	11	1.1%
4. 自営業	53	5.5%
5. 会社員・公務員	306	31.5%
6. パート・アルバイト	167	17.2%
7. 無職	224	23.0%
8. その他	11	1.1%
未回答	19	2.0%
合計	972	100.0%



- ・職業は「会社員・公務員」が 31.5%で最も多く、これに次ぐのは「無職」の 23.0%となっている。

その他の記入内容

分類	記入数
会社役員・顧問	3
その他	5
記入合計	8

問 家族構成

1. 単身世帯（ひとり暮らし） 2. 一世代世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ）
3. 二世代世帯（親子など） 4. 三世代世帯（親と子と孫など） 5. その他



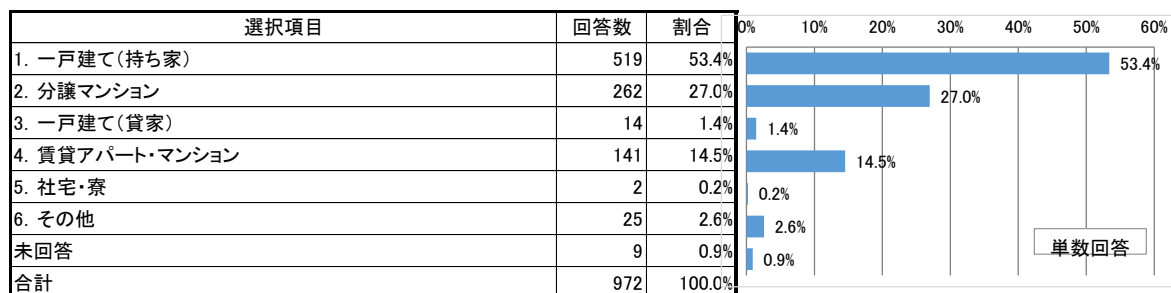
- ・家族構成は「親子などの二世代世帯」が49.2%と半分近くを占め、「夫婦のみなど一世代世帯」が34.2%で、この両方で83.4%を占める。

その他の記入内容

分類	記入数
祖父母と孫	2
同居	1
その他	4
記入合計	7

問 お住まいは次のどれにあたりますか

1. 一戸建て（持ち家） 2. 分譲マンション 3. 一戸建て（貸家）
4. 賃貸アパート・マンション 5. 社宅・寮 6. その他



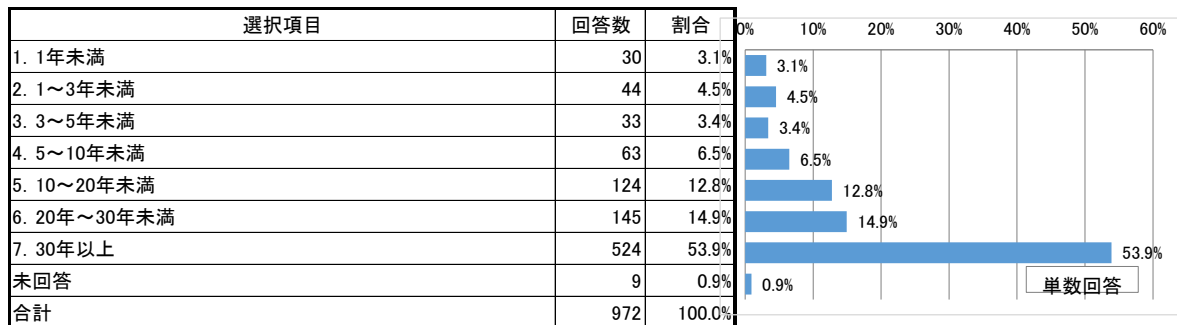
- ・「戸建て持ち家」が過半の53.4%、「分譲マンション」が27.0%、「賃貸アパート・マンション」が14.5%で、この三つの形態で94.5%を占める。また、8割が持ち家居住者である。

その他の記入内容

分類	記入数
公営住宅	3
UR（分譲・賃貸）	16
サービス付き高齢者向け住宅	1
記入合計	20

問 三郷市に住んでどれくらいになりますか

1. 1年未満 2. 1～3年未満 3. 3～5年未満
4. 5～10年未満 5. 10～20年未満 6. 20年～30年未満 7. 30年以上



- ・居住期間は、「30 年以上」が 53.9%に達する。
- ・10 年未満の合計は 17.5%で、10～20 年未満、20～30 年未満をそれぞれ上回っていることから、本市の住民の居住年を概ね反映していると考えられる。

問 これからも三郷市に住みたいとお考えですか

1. ずっと住みつづけたい 2. 当分の間は住みつづけたい
3. 市内の利便性が高い地域に転居したい 4. 市外に転居したい
5. わからない



- ・今後の居住継続意思については、「住み続けたい」が 49.6%、「当分の間住み続けたい」が 31.9%で、合計すると 80.5%に達し、大半が定住の場所として考えている結果となっている。

3 自由記入の整理

- ・自由記入欄への記入者数は、440 件で回答者数 972 件の 45.3%である。
- ・1 人の記入者が複数の内容にわたって記入している場合があるため、これを分割して整理すると、記入内容総数は 674 件となった。
- ・記入内容については、6 つの大分類と 23 の細分類に分類して整理を行った。
- ・意見が多い細分類としては、バスに関する記入、道路整備に関する記入が多く見られた。

□自由記入意見の分類

分類	細分類	回答数	割合
①施設	a.商業施設関連	32	4.7%
	b.公共施設関連	19	2.8%
	c.医療	11	1.6%
	d.公園整備	19	2.8%
	e.インフラ整備・開発	17	2.5%
	f.土地・建物利活用	13	1.9%
②交通	g.鉄道（都心へのアクセス）	9	1.3%
	h.バス（市内の移動）	80	11.9%
	i.道路整備	78	11.6%
	j.渋滞	21	3.1%
	k.交通安全・取り締まり	32	4.7%
③生活環境	l.環境・景観	66	9.8%
	m.地域格差	24	3.6%
	n.防災	32	4.7%
	o.防犯	13	1.9%
④市民	p.子育て・教育	35	5.2%
	q.高齢者・障がい者福祉	15	2.2%
⑤将来像	r.まちづくり	66	9.8%
	s.活性化・企業誘致	10	1.5%
⑥その他	t.市政・広報	15	2.2%
	u.感想（良）	17	2.5%
	v.感想（悪）	18	2.7%
	w.その他	32	4.7%
総計		674	100.0%

注）記入者総数は、440件で回答者972件の45.3%